

基本施策評価シート

施策コード	1-1	主担当課	福祉課
基本施策	母子保健の充実	関連課名	健康推進課
基本目標	1 希望に満ち、子どもたちが健やかに育つむらづくり		

現状と課題	<p>○妊娠期・乳幼児期における健康づくりは、その後のライフステージにおける健康づくりの基礎となることから、母子保健の充実を図っていく必要があります。</p> <p>○村では、妊娠期・乳幼児期における各種健診や訪問事業等を通じて、子どもの疾病や障がい等の早期発見・早期療育に努めています。また、特に配慮が必要な子どもについては、関係機関と連携し、適切な支援につなげられるよう努めています。また、専門的な人材の確保と支援体制の強化が課題となっています。</p> <p>○近年の社会構造の複雑化や核家族化等を背景に、子育て世代が心身の健康に課題を抱えているケースも多くなっており、健康に対する正しい知識の習得・実践に向けた支援の充実に取り組んでいく必要があります。</p>
-------	--

指標名	単位	初期値 (H27)	H29	H30	R元	R2	目標値 (R3)	
							実績	達成度
乳幼児健診受診率(4ヶ月健診)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	99.3	97.1	95.5				
	達成度	99.3%	97.1%	95.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
乳幼児健診受診率(1歳6ヶ月健診)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	98.3	98.3	98.9				
	達成度	98.3%	98.3%	98.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
乳幼児健診受診率(3歳児健診)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	96.8	85.9	93.0				
	達成度	96.8%	85.9%	93.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
妊婦相談件数	目標値	200	200	200	200	200	200	200
	実績	188	158	166				
	達成度	94.0%	79.0%	83.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不妊治療費助成件数	目標値	25	25	25	25	25	25	25
	実績	21	15	14				
	達成度	84.0%	60.0%	56.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
妊産婦医療費助成(国保繰り出し含む)	目標値	3,500	3,500	2,730	3,500	3,500	3,500	3,500
	実績	3,245	3,161	2,397				
	達成度	92.7%	90.3%	87.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
児童発達支援	目標値	150	150	150	150	150	150	150
	実績	131	287	310				
	達成度	87.3%	191.3%	206.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
児童ディサービス	目標値	300	300	300	300	300	300	300
	実績	261	341	380				
	達成度	87.0%	113.7%	126.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
1-1-1 妊娠・出産期からの支援	現状維持	1-1-5 思春期保健の充実	現状維持
1-1-2 乳幼児健診の充実	現状維持		
1-1-3 養育支援の充実	現状維持		
1-1-4 発達支援・療育体制の充実	現状維持	※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/-	

全体総括	<p>・母子ともに、健やかに成長できるよう乳幼児健診・相談等を実施し、疾病等の早期発見、適正な医療機関や療育機関へつなぐことができた。</p> <p>・また、子育て世代の中心となる若年層にとって、妊娠期及び出産後は、退職や育児休業により収入が減少する中で、出産と子育てへの出費は大きな負担となることから、医療受診にかかる経済的負担を軽減し、乳幼児(未熟児)および妊産婦の保健の向上を図ることが出来た。</p>
------	--

総合評価	A
目標に向け順調に進んでいる	

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	補単	事業費(千円)		
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価			平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
1-1-1 妊娠・出産期からの支援													
	1 妊婦健康診査等事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	19,169	20,746	22,762
	2 特定不妊治療助成事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	1,624	2,900	2,900
	3 妊産婦医療費助成事業	福祉課	A	B	B	B	A	継続	現状維持	単	2,974	2,444	3,624
1-1-2 乳幼児健診の充実													
	4 乳幼児健診関係事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	2,530	3,761	3,756
	5 歯科保健事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	706	629	629
1-1-3 養育支援の充実													
	6 乳幼児家庭全戸訪問事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	0	1,136	1,136
	7 養育医療制度事業	福祉課	A	B	A	A	A	継続	現状維持	補	1,029	1,208	1,210
1-1-4 発達支援・療育体制の充実													
	8 すくすく教室・乳幼児発達相談会	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	77	119	119
1-1-5 思春期保健の充実													
	9 学校と保健の連携事業	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	190	190	190
合計											28,299	33,133	36,326

令和 元 年度 実施

基本施策評価シート

施策コード	1-2	主担当課	福祉課
基本施策	幼児期の教育・保育の充実	関連課名	学校教育課
基本目標	1 希望に満ち、子どもたちが健やかに育つむらづくり		

現状と課題	<p>○社会情勢、近隣関係、家族構成等の変化及び就労形態、価値観等の多様化に伴い、教育・保育ニーズが増加するとともに、多様化してきており、教育・保育ニーズを把握しながら、提供体制の量的確保と質的充実に計画的に推進していく必要があります。</p> <p>○本村においても、保育ニーズの高まりを受けて、待機児童の解消が喫緊の課題となっており、平成31年度に新たな保育園が開設される予定となっています。</p> <p>○乳幼児期から就学後にいたる発達の連続性を踏まえた子どもの育ちを支援するためには、各時期における教育・保育の質の改善を図るとともに、各関係機関の連携を強化していく必要があります。</p> <p>○障がいを抱える子どもや発達に気になる子どもなど特別な配慮が必要な子どもを含めて、一人一人の状況を把握し、発達に応じた一貫した支援が必要です。そのため、保育園、幼稚園等における支援体制の強化や職員の専門性の向上が求められます。</p>
-------	--

指標名	単位	初期値 (H27)	H29	H30	R元	R2	目標値 (R3)	
							実績	達成度
保育提供体制の確保(村内保育園の定員)	人	518	518	518	518	518	518	518
		433	453	453				
		83.6%	87.5%	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
待機児童数	人	0	0	0	0	0	0	0
		27	64.0	59.0				
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3年保育・預かり保育の実施	-	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
		未実施	未実施	未実施				
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
病児病後児保育の実施	-	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
		未実施	未実施	未実施				
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
むらづくり指標の達成度		目標値						
		実績						
		達成度						
		目標値						
		実績						
		達成度						
		目標値						
		実績						
		達成度						
		目標値						
		実績						
		達成度						

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
1-2-1 待機児童対策	現状維持		
1-2-2 多様なニーズに応じた教育・保育の充実	現状維持		
1-2-3 幼保小連携の強化	現状維持		
1-2-4 障がい児保育の充実	現状維持	※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/-	

全体総括	<p>(福祉課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 待機児童解消対策として、新保育園の建設により村内保育園の定員数の拡大を図っている。今後は、保育士不足の課題を解消する必要が生じてくる。 共働き世帯の増加や就労形態の多様化により保育園に求められるものが増加傾向にあり、引き続き安心して子育てができる環境を整備して行く。 障がいを抱える子どもや、特別な配慮を必要とする子どもの状況を把握し、関係機関で連携を密に行い発達に応じた支援を図ることが出来た。
------	---

総合評価	B
目標に向けある程度進んでいる	

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	補単	事業費(千円)		
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価			平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
1-2-1 待機児童対策													
10	待機児童解消対策事業	福祉課	A	B	A	A	A	民営化	現状維持	単	283,232	0	0
11	保育士就職準備金貸付事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	2,700	800	800
12	保育士等宿舍借上支援事業	福祉課	-	-	-	-	-	-	-	補	0	1,980	1,980
1-2-2 多様なニーズに応じた教育・保育の充実													
13	川谷保育園運営補助事業	福祉課	A	A	A	A	B	継続	現状維持	補	210	213	213
14	延長保育促進事業	福祉課	A	A	A	A	B	継続	現状維持	補	4,679	8,089	8,089
15	川谷保育園保育事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	116,692	118,200	118,200
16	地域保育事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	33,731	27,856	27,856
17	みずほ保育園保育事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	151,100	157,398	157,398
19	広域入所事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	10,235	15,084	15,084
20	まきば保育園施設管理費	福祉課	A	A	B	A	A	継続	現状維持	単	4,571	5,114	5,114
21	まきば保育園施設運営費	福祉課	A	A	B	A	A	継続	現状維持	補	19,134	16,576	16,576
22	施設型給付事業	福祉課	A	A	C	B	A	継続	現状維持	補	8,997	9,804	7,469
23	幼稚園管理費	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	3,009	2,075	2,075
1-2-3 幼保小連携の強化													
24	幼稚園費	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	3	3	3
1-2-4 障がい児保育の充実													
25	障がい児保育事業・病児保育事業	福祉課	A	A	C	B	A	継続	現状維持	単	4,136	2,892	2,892
合計											642,429	366,084	363,749

基本施策評価シート

施策コード	1-3	主担当課	福祉課
基本施策	子育て支援の充実	関連課名	企画政策課
基本目標	1 希望に満ち、子どもたちが健やかに育つむらづくり		学校教育課

現状と課題	<p>○人口減少時代が本格化する中で、全国的に少子高齢化が進行しています。少子化の要因として、未婚化・晩婚化・晩産化と合わせ、子育てにかかる精神的・経済的負担の増大が挙げられており、負担の軽減を図っていく必要があります。</p> <p>○村では、育児不安の解消や社会的孤立の防止に向け、子育て家庭同士の交流の場づくりや各種相談支援等を実施しています。今後は、地域における多様な主体によるきめ細かな子育て支援活動の活性化を図っていく必要があります。</p> <p>○ひとり親家庭や経済的に困窮している世帯など、さまざまな困難を抱えている子育て家庭が増えてきており、子どもの健やかな成長と社会的、経済的自立に向けた支援の充実を図っていく必要があります。</p>
-------	--

指標名	単位	初期値 (H27)	H29	H30	R元	R2	目標値 (R3)	
							目標値	実績
出合いの場創出事業におけるカップル成立件数	組	40	40	40	40	40	40	40
		32	39	39				
		80.0%	97.5%	97.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
子ども・子育て支援センター機能	-	設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置
		未設置	未設置	未設置				
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
乳幼児医療費助成(国保繰出金含む)	千円	53,000	53,000	41,800	53,000	53,000	53,000	53,000
		50,549	49,014	40,738				
		95.4%	92.5%	97.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
児童医療費助成(国保繰出金含む)	千円	70,500	70,500	69,500	70,500	70,500	70,500	70,500
		70,726	71,101	60,231				
		99.7%	99.2%	115.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
児童クラブ入会児童数	人	300	300	300	300	300	300	300
		274	322	380				
		91.3%	107.3%	126.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ひとり親家庭医療費助成(国保繰出金含む)	千円	3,600	3,600	5,496	3,600	3,600	3,600	3,600
		3,626	3,724	4,650				
		99.3%	96.7%	118.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
1-3-1 出合いの場の創出と結婚支援	現状維持	1-3-5 児童虐待防止対策の充実	拡充・強化
1-3-2 地域における子育て支援の充実	現状維持		
1-3-3 子どもの居場所づくり	現状維持		
1-3-4 ひとり親家庭への支援	現状維持	※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/-	

全体総括	<p>・結婚のきっかけづくりの事業として重要性が高いが、制度周知が十分に行われていないので、さらなる制度周知を行い、参加者の増加を図っていく。(企画財政課)</p> <p>・引き続き子育て世代の交流の場や子育てに関する相談事業を実施し、子育ての不安解消を図っている。</p> <p>・0歳から18歳までの子どもに係る医療費助成事業や、ひとり親家庭への医療費助成事業を実施し子育て世帯やひとり親家庭の経済的負担の軽減を図るとともに保健の向上を図った。</p> <p>・保護者の就労等により放課後留守家庭になる児童の居場所とし、児童クラブでの1~6年生までの受け入れを行っていく。</p> <p>・児童虐待について関係機関との情報共有・連携を強化し、早期発見、児童の安全確保に努めていく。(福祉課)</p>
------	---

総合評価	B
目標に向けある程度進んでいる	

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	補・単	事業費(千円)		
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価			平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
1-3-1 出合いの場の創出と結婚支援													
25	西郷村新たな出合いの場創出事業	企画政策課	B	C	C	B	A	継続	現状維持	単	100	206	206
1-3-2 地域における子育て支援の充実													
26	児童福祉総務費	福祉課	-	-	-	-	-	-	-	補	3,183	1,608	1,608
27	子ども子育て支援事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	7,640	8,000	8,000
28	児童手当事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	368,608	378,229	378,229
29	つどいの広場運営事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	5,676	6,720	6,720
30	児童厚生員活動事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	126	302	302
31	児童医療費助成事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	60,231	60,937	62,100
32	乳幼児医療費助成事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	42,412	37,801	45,100
33	私立幼稚園就園奨励費事業	福祉課	A	A	C	B	A	継続	現状維持	補	33,179	72,733	72,836
34	私立幼稚園保育料軽減補助事業	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	720	0	0
1-3-3 子どもの居場所づくり													
35	放課後児童健全育成事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	3,369	3,369	3,369
36	上野原児童遊び場事業	福祉課	C	B	C	B	C	継続	次年度以降検討	単	0	22	22
37	屋内遊び場確保事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	17,975	17,705	17,705
38	小田倉児童館費	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	15,781	15,418	15,418
39	小田倉児童クラブ運営事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	677	724	724
40	熊倉児童館費	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	1,995	1,720	1,720
41	熊倉児童クラブ運営事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	647	650	650
42	米児童クラブ費	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	783	1,023	1,023
43	米児童クラブ運営費	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	382	430	430
44	羽太児童クラブ施設整備費	福祉課	A	A	A	A	A	終了	終了	単	494	0	0
45	羽太児童クラブ建設事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	2,954	33,150	0
46	羽太児童クラブ費	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	234	327	327
47	羽太児童クラブ運営費	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	186	247	247
48	熊倉児童クラブ建設事業	福祉課	-	-	-	-	-	-	現状維持	補	0	53,662	0
1-3-4 ひとり親家庭への支援													
49	ひとり親家庭医療費助成事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	4,650	6,000	6,000
1-3-5 児童虐待防止対策の充実													
50	児童虐待防止対策事業	福祉課	A	B	A	A	A	継続	拡充・拡充	単	0	130	130
合計											572,002	701,113	622,866

基本施策評価シート

施策コード	2-1	主担当課	学校教育課
基本施策	学校教育の充実	関連課名	
基本目標	2 自らを高め、共によりよく生きるむらづくり		

現状と課題	<p>○変化の激しいこれからの社会を生き抜くために、豊かな心、確かな学力、健やかな体をバランスよく育てることが大切です。 ○各学校における重点実践事項を「必四学習」として具体的に定め、「生きる力」を育むための特色ある教育に取り組んでいます。 ○社会経済のグローバル化や情報通信技術の急速な発達に伴い、国際理解教育や情報教育の重要性がより増えています。また、環境問題や「安全・安心」への関心の高まりを踏まえ、環境教育や防災教育にもさらに力を入れていく必要があります。 ○発達障がいや学校不適応等、きめ細かな支援を必要とする児童生徒への対応のために、専門性を有する人材の確保が課題となっています。</p>
-------	---

指標名	単位	初期値 (H27)	H29	H30	R元	R2	目標値 (R3)	
							目標値	実績
全国学力・学習状況調査平均正解答率の全国比(小学校)	目標値	105.0	105.0	105.0	105.0	105.0	105.0	105.0
	実績	103.0	101.2	103.3				
	達成度	98.1%	96.4%	98.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
全国学力・学習状況調査平均正解答率の全国比(中学校)	目標値	105.0	105.0	105.0	105.0	105.0	105.0	105.0
	実績	92.0	98.2	97.0				
	達成度	87.6%	93.5%	92.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
実用英語検定3級以上(中学3年生)	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	実績	15.0	16.5	16.0				
	達成度	75.0%	82.5%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全国体力・運動能力、運動習慣等調査平均値で全国を上回る種目数(小学校)	目標値	10	10	10	10	10	10	10
	実績	4	12	10				
	達成度	40.0%	120.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全国体力・運動能力、運動習慣等調査平均値で全国を上回る種目数(中学校)	目標値	10	10	10	10	10	10	10
	実績	9	10	8				
	達成度	90.0%	100.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
むらづくり指標の達成度	目標値							
	実績							
	達成度							

個別施策名	方向性	個別施策名		方向性
		2-1-1	2-1-5	
2-1-1 豊かな心の育成	現状維持	2-1-5 時代に対応した教育の推進	現状維持	
2-1-2 確かな学力の向上	現状維持	2-1-6 特別支援教育の充実	現状維持	
2-1-3 健やかな体の育成	現状維持			
2-1-4 特色ある教育の推進	現状維持	※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/-		

全体総括	5つの指標のうち4つは平成29年度実績から緩やかに下落しているが、うち1つは目標値に達している。現状の施策を精査検討しながら、継続して学校教育の充実を目指す。
------	---

総合評価	A
目標に向け順調に進んでいる	

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	補単	事業費(千円)		
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価			平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
2-1-1 豊かな心の育成													
1	事務局費一般	学校教育課	A	A	B	A	A	継続	現状維持	単	38,689	14,781	14,781
2-1-2 確かな学力の向上													
2	総合的な学習の時間事業	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	935	935	918
2-1-3 健やかな体の育成													
3	西白河地区小学校陸上競技大会補助金	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	274	308	350
4	中学校体育連盟大会参加補助金	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	7,445	9,105	8,640
5	特別推進事業費 食育推進事業	学校教育課	A	A	A	B	A	継続	現状維持	単	183	273	273
2-1-4 特色ある教育の推進													
6	セカンドスクール学習事業	学校教育課	A	A	A	A	B	継続	現状維持	単	157	208	181
7	小学校合同宿泊学習事業	学校教育課	A	A	A	A	B	継続	現状維持	単	442	650	994
8	音楽祭出場補助金(小学校)	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	1,209	1,797	1,809
9	音楽祭出場補助金(中学校)	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	1,229	1,302	1,354
10	小学校区域外就学委託費	学校教育課	-	-	-	-	-	-	-	補	3,351	3,463	2,585
11	中学校区域外就学委託費	学校教育課	-	-	-	-	-	-	-	補	2,166	2,058	1,861
2-1-5 時代に対応した教育の推進													
12	外国指導助手諸費	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	15,010	22,246	22,246
2-1-6 特別支援教育の充実													
13	スクールソーシャルワーカー緊急派遣事業	学校教育課	-	-	-	-	-	-	-	補	2,292	2,350	2,350
14	学校支援事業	学校教育課	-	-	-	-	-	継続	現状維持	単	20,416	23,618	23,618
15	適応指導教室設置事業	学校教育課	A	A	A	A	B	継続	現状維持	単	2,768	2,800	2,800
16	特別支援教育就学奨励費(小学校)	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	618	862	802
17	特別支援教育就学奨励費(中学校)	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	87	669	553
合計											71,090	57,126	55,992

令和 元 年度 実施

基本施策評価シート

施策コード	2-2	主担当課	学校教育課
基本施策	家庭・地域の教育力向上	関連課名	生涯学習課
基本目標	2 自らを高め、共によりよく生きるむらづくり		

現状と課題	<p>○核家族化や近隣関係の希薄化等を背景として、家庭や地域の教育力の低下が指摘されています。未来を担う子どもたちの健やかな成長のためには、家庭や地域における教育力の向上が重要です。</p> <p>○学校への期待や教職員の負担感が増加しており、学校運営を地域全体で支えていく必要があります。</p> <p>○村では、子どもが大切にすべきことを示した「子ども宣言」、子どもの幸せのために親が実践すべきことを示した「子育て宣言」、を制定し、人権教育、心の教育を推進するための「5つの提言」をまとめ、教育に活用しており、今後も、大切にすべき教育の考え方を家庭や地域が共有し、取り組んでいく必要があります。</p> <p>○若者の定住に向け、郷土に対する誇りや愛着の醸成が重要です。地域活動団体や地元企業などとの連携を図り、地域の産業や歴史・文化、自然環境等について学習・体験する機会や、家庭や地域以外の人との交流・関わりを深めることができる機会の充実を図っていく必要があります。</p>
-------	--

指標名	単位	初期値 (H27)	H29	H30	R元	R2	目標値 (R3)
ノーマディア目標達成率 ※3年に一度の調査であるためH30値を記載	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	実績	37.0		35.0			
	達成度	74.0%	0.0%	70.0%	0.0%	0.0%	0.0%
子ども避難の家登録件数	目標値	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0
	実績	260.0	263.0	262.0			
	達成度	86.7%	87.7%	87.3%	0.0%	0.0%	0.0%
子どもの安全見守り隊員数	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	87.0	80.0	79.0			
	達成度	87.0%	80.0%	79.0%	0.0	0.0	0.0
むらづくり指標の達成度	目標値						
	実績						
	達成度						

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
2-2-1 学校・家庭・地域の連携促進	現状維持		
2-2-2 地域ぐるみの見守り活動の支援	現状維持		
2-2-3 家庭の教育力の向上支援	現状維持		
2-2-4 多様な体験・交流活動の充実	現状維持	※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/-	

全体総括	<p>3つの指標について平成29年度実績(またはH27年度実績)から達成度は下落している。各施策について、より広く周知し、啓発活動を推進することで達成度の向上を目指す。少年の主張大会、夏休み期間中の街頭指導、薬物乱用防止のための街頭活動、村PTA連絡協議会と連携したノーマディア運動の実施といった啓発活動を続けており、今後も青少年の健全育成のために続けていく必要があると考える。</p> <p>4年ぶりに中学生の海外派遣事業を実施し、初めてアメリカ合衆国への派遣を行った。派遣生19名がホームステイなどを通し多くの経験をし成長し、視野を広げ、多角的に考える力を身につけるなど、一人一人の成果は大きいと実施委員会では評価をいただいている。費用対効果など本事業を多角的に検討し、今後の実施について考えていきたい。</p>
------	--

総合評価	A
目標に向け順調に進んでいる	

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	補・単	事業費(千円)		
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価			平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
2-2-1 学校・家庭・地域の連携促進													
18	教育委員会費(一般)	学校教育課	A	A	A	A	C	継続	現状維持	単	1,477	1,535	1,535
19	学校支援地域本部事業	生涯学習課	-	-	-	-	-	-	-	補	567	703	659
20	地域学校協働活動事業	生涯学習課	-	-	-	-	-	-	-	補	6,032	5,296	5,296
21	放課後児童対策推進事業	生涯学習課	-	-	-	-	-	-	-	補	3,653	3,810	3,810
22	青少年健全育成村民会議補助金	生涯学習課	A	B	B	A	B	継続	現状維持	単	270	270	270
23	PTA連絡協議会補助金	生涯学習課	A	A	A	A	C	継続	現状維持	単	120	120	120
2-2-2 地域ぐるみの見守り活動の支援													
24	学校安全体制整備事業費	学校教育課	A	B	A	B	A	継続	現状維持	単	566	731	641
2-2-3 家庭の教育力の向上支援													
25	家庭の教育力の向上の支援	学校教育課	A	B	B	B	B	継続	現状維持	単	1,053	1,035	1,035
2-2-4 多様な体験・交流活動の充実													
26	中学生海外派遣事業	生涯学習課	B	B	A	B	B	終了	終了	単	10,545	0	0
合計											24,283	13,500	13,366

基本施策評価シート

施策コード	2-3	主担当課	学校教育課
基本施策	教育環境の整備	関連課名	生涯学習課
基本目標	2 自らを高め、共にによりよく生きるむらづくり		

現状と課題

○学校は、子どもたちが1日の大半を過ごす場であり、安心して勉強できる環境の整備と合わせ、防災対策や不審者対策などにより、子どもたちの安全を確保していく必要があります。
 ○国際化・情報化社会の進展、気象の変化など、社会環境の変化に伴い、学校に求められる教育ニーズや安全対策も変化しています。また、老朽化してきている施設・設備のみみられることから、それらに対応するための計画的な教育環境の整備を進めていくことが必要です。
 ○学校は、地域の核となる拠点でもあるため、開かれた学校づくりを進めることにより、学校施設の有効活用と適正管理に努めていく必要があります。
 ○ひとり親家庭や生活困窮世帯等の子どもは、経済的な理由により、希望する進学をあきらめざるを得なかったり、学習意欲を持つことができなかったりする場合があります。世代間の貧困の連鎖を防ぐためにも、就学にかかる経済的支援の充実が求められています。

指標名	単位	初期値 (H27)	H29	H30	R元	R2	目標値 (R3)
指導主事・学校教育推進員の派遣回数	回	30	30	30	30	30	30
		26	48	44			
		86.7%	160.0%	146.7%	0.0%	0.0%	0.0%
学校評価「施設整備」分野への評価	点	3.50	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
		3.36	3.32	3.3			
		96.0%	94.9%	93.1%	0.0%	0.0%	0.0%
奨学金制度の利用者数	人	10	10	10	10	10	10
		3	6	7			
		30.0%	60.0%	70.0%	0.0%	0.0%	0.0%
むらづくり指標の達成度		目標値					
		実績					
		達成度					
		目標値					
		実績					
		達成度					
		目標値					
		実績					
		達成度					
		目標値					
		実績					
		達成度					

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
2-3-1 安全・安心な学校づくり	現状維持	2-3-5 就学支援の充実	現状維持
2-3-2 教職員の資質の向上	現状維持		
2-3-3 計画的な施設・設備の更新	現状維持		
2-3-4 安全な通学の確保	現状維持	※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/ー	

全体総括

1つの指標について達成度の向上がみられ、1つは目標値に達している。
 各施策については指標の数値に表れる部分と数値では見えない部分があるが、より充実した教育環境を目指して継続していく。

総合評価

A

目標に向け順調に進んでいる

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	事業費(千円)			
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価		補・単	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
2-3-1 安全・安心な学校づくり													
27	教育長諸費	学校教育課	A	A	A	A	B	継続	現状維持	単	489	697	697
28	小学校教育振興費(一般)	学校教育課	-	-	-	-	-	-	-	補	828	899	899
29	中学校教育振興費(一般)	学校教育課	-	-	-	-	-	-	-	補	964	1,179	1,179
30	給食センター費(一般)	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	46,882	50,269	50,665
31	施設管理費	学校教育課	A	A	C	A	A	継続	現状維持	単	12,709	11,821	12,824
32	給食配送車両諸費	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	1,021	1,239	949
33	にしごうマクロビ給食補助金	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	5,000	4,000	4,000
34	給食センター費 学校給食検査体制整備費	学校教育課	-	-	-	-	-	-	-	補	2,663	2,816	2,816
35	学校給食費軽減補助金(多子世帯学校給食費補助金)	学校教育課	A	A	B	B	B	継続	現状維持	単	4,500	4,500	4,500
38	教職員資質の向上	学校教育課	A	A	B	B	B	継続	現状維持	単	0	0	0
39	小学校補修事業	学校教育課	A	A	B	B	B	継続	現状維持	単	3,695	3,500	3,500
2-3-2 教職員の資質の向上													
38	教職員資質の向上	学校教育課	A	B	B	A	A	継続	現状維持	単	0	0	0
2-3-3 計画的な施設・設備の更新													
39	小学校補修事業	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	3,695	3,500	3,500
40	小学校管理費(一般)	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	6,239	5,876	6,555
41	小学校管理費(事務局分)	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	1,162	1,510	1,510
42	小学校教育振興費(事務局分)	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	873	870	870
43	理科教育設備費	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	375	664	664
44	小学校施設整備費(臨時)	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	2,256	35,403	0
45	特定防衛施設周辺整備調整交付金事業	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	53,842	78,863	0
46	中学校管理費(一般)	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	3,131	3,216	3,216
47	中学校補修事業	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	2,899	2,900	2,900
48	中学校管理費(事務局分)	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	876	739	739
49	理科教育設備費	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	270	160	160
50	中学校施設整備費(臨時)	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	1,400	18,359	0
51	特定防衛施設周辺整備調整交付金事業	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	13,957	0	60,107
2-3-4 安全な通学の確保													
52	スクールバス諸費	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	9,230	12,492	9,829
53	ブール授業対応事業	学校教育課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	1,157	1,932	3,635
54	遠距離通学費	学校教育課	A	A	B	A	A	継続	現状維持	単	137	147	118
2-3-5 就学支援の充実													
55	要保護・準要保護児童就学援助費(小学校)	学校教育課	A	A	B	A	A	継続	現状維持	単	6,675	9,527	8,217
56	被災児童就学援助費	学校教育課	-	-	-	-	-	-	-	補	617	565	636
57	被災生徒就学援助費	学校教育課	-	-	-	-	-	-	-	補	799	1,099	667
58	要保護・準要保護児童就学援助費(中学校)	学校教育課	A	A	B	A	A	継続	現状維持	補	8,103	13,549	10,901
合計											196,444	272,291	196,253

基本施策評価シート

施策コード	2-4	主担当課	生涯学習課
基本施策	生涯学習の推進	関連課名	
基本目標	2 自らを高め、共によりよく生きるむらづくり		

現状と課題

○社会情勢やライフスタイルの変化、価値観の多様化に伴い、自己啓発・自己実現に向けた学習ニーズが高度化、多様化してきています。時代のニーズに応じた生涯学習機会の充実が求められるとともに、そうした機会を通じたコミュニティの醸成に期待が寄せられています。
 ○子どもから高齢者まで各層にわたるニーズに対応した多様なプログラムの実施を図るとともに、地域に潜在しているさまざまな知識や技術を持つ人材を有効活用しながら、さまざまな世代が共に楽しみ、活動することができる生涯学習環境を整備していく必要があります。
 ○村では、公民館事業として「西郷単位制総合大学」を開設し、地域の自主グループ活動と連携した生涯学習の推進に取り組んでいます。卒業生を学校教育や生涯学習の講師として招くなど、地域における学びの循環が形成されており、引き続き生涯学習の中核として推進していく必要があります。
 ○学力の向上につながる読解力を養い、知識や教養を身に付ける読書活動は家庭や学校だけでなく地域全体での取り組みが必要であり、ハード・ソフト両面での読書環境の充実におよ一層推進していかなくてはなりません。
 ○これら全ての活動や芸術・文化活動の拠点となる文化センターの機能向上や各地域における集会所の改修などのコミュニティ施設の整備を推進していく必要があります。

指標名	単位	初期値 (H27)	H29	H30	R元	R2	目標値 (R3)
公民館事業に参加した人数	人	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
		4,380	9,331	9,414			
		87.6%	186.6%	188.3%	0.0%	0.0%	0.0%
西郷村単位制総合大学在校生数	人	55	55	55	55	55	55
		44	44	43			
		80.0%	80.0%	78.2%	0.0%	0.0%	0.0%
図書室貸し出し冊数	冊	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
		5,894	8,072	7,025			
		58.9	80.7	70.3	0.0	0.0	0.0
集会施設等の利用人数	人	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000
		26,203	23,028	21,838			
		97.0%	85.3%	80.9%	0.0%	0.0%	0.0%

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
2-4-1 公民館活動の充実	現状維持		
2-4-2 人材育成・学び循環の推進	現状維持		
2-4-3 読書活動の充実	現状維持		
2-4-4 生涯学習拠点・コミュニティ施設の整備	現状維持	※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/-	

全体総括

西郷村単位制総合大学在校生数については初期値から横ばいもしくは増加しており、公民館利用者数については、目標値を大きく上回っており、このまま進めていけばいいのではないかと考えられる。
 図書貸出冊数については、初期値を上回っているが、昨年度より減少しているため、事業の拡充・強化が必要と考えられる。
 集会施設等の利用人数は初期値より減少しているが、利用件数は平成27年度に比べて増加しているため、現状維持とした。

総合評価

A

目標に向け順調に進んでいる

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	補単	事業費(千円)		
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価			平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
2-4-1 公民館活動の充実													
1	社会教育総務費(一般)	生涯学習課	-	-	-	-	-	-	-	単	281	668	668
2	公民館費(一般)	生涯学習課	-	-	-	-	-	-	-	単	5,916	6,502	6,502
3	少年少女合唱クラブ	生涯学習課	A	A	A	A	C	継続	現状維持	単	329	349	349
4	西郷村単位制総合大学	生涯学習課	A	A	B	A	C	継続	現状維持	単	173	373	275
5	成人対象講座(H29年度から「きりり学び講座」)	生涯学習課	A	A	B	A	C	継続	現状維持	単	110	125	157
6	「びんびんきりり」健康麻雀教室	生涯学習課	A	A	A	B	C	継続	現状維持	単	178	64	64
7	「びんびんきりり」人生楽園の旅	生涯学習課	A	A	A	C	B	継続	現状維持	単	130	180	180
8	「びんびんきりり」健康パドル体操教室	生涯学習課	A	A	A	A	C	継続	現状維持	単	100	93	93
9	「びんびんきりり」ハッピー西郷ヨガ教室	生涯学習課	B	A	B	B	C	終了	終了	単	69	0	0
10	日本語教室(外国人向け)及び日本語ボランティア養成講座	生涯学習課	A	A	B	B	B	継続	現状維持	単	19	46	46
11	陶芸教室	生涯学習課	-	-	-	-	-	-	-	単	0	75	75
12	小学生英会話教室	生涯学習課	A	A	A	B	B	継続	現状維持	単	46	156	156
2-4-2 人材育成・学び循環の推進													
13	人材育成事業費(一般)	生涯学習課	A	A	A	B	B	継続	現状維持	単	46	156	156
14	中学生異文化体験事業	生涯学習課	A	A	A	A	C	継続	現状維持	補	2,003	2,631	2,631
15	人材育成事業助成事業	生涯学習課	A	B	A	B	B	継続	現状維持	補	300	1,100	1,100
16	人材育成基金奨学金	生涯学習課	A	A	A	B	B	継続	現状維持	補	3,460	9,020	9,200
17	成人式諸費	生涯学習課	A	A	A	B	B	継続	現状維持	単	490	721	721
2-4-3 読書活動の充実													
18	おはなし会	生涯学習課	A	A	B	C	B	継続	現状維持	単	40	40	40
19	図書費	生涯学習課	A	B	B	A	B	継続	現状維持	単	2,929	2,649	2,649
20	図書ボランティア活動事業	生涯学習課	A	A	C	A	B	継続	現状維持	単	92	374	374
21	読書フォーラム	生涯学習課	A	A	B	A	B	継続	現状維持	単	32	232	232
2-4-4 生涯学習拠点・コミュニティ施設の整備													
22	文化センター管理費	生涯学習課	A	A	B	B	A	継続	-	単	6,676	9,510	7,443
23	文化センター施設整備費	生涯学習課	A	A	B	B	A	継続	-	単	1,416	51,509	0
合計											23,419	35,064	33,111

基本施策評価シート

施策コード	2-5	主担当課	生涯学習課
基本施策	スポーツの推進	関連課名	
基本目標	2 自らを高め、共によりよく生きるむらづくり		

現状と課題	<p>○健康や体力づくりへの関心が高まっており、西郷村シンボルスポーツ(健康ウォーキング・ラジオ体操)等の実践を通して、スポーツ人口も増加してきています。2020年には東京でオリンピック・パラリンピックが開催されることもあり、ますますスポーツに関心を持ち、親しむ人が増えてくるものと思われます。</p> <p>○子ども運動広場、屋内村民プール等のスポーツ施設を活用し、子どもから高齢者まですべての人がライフステージに応じたスポーツ活動に参加できるようスポーツ機会の充実を図ることが必要です。</p> <p>○より多くの村民が気軽にスポーツに親しむことができる環境整備を推進するとともに、スポーツを「みる」、「ささえる」など、多様な楽しみ方ができ、スポーツを通じて多様な交流が生まれる環境の整備を推進していく必要があります。</p>
-------	---

指標名	単位	初期値(H27)	H29	H30	R元	R2	目標値(R3)	
							目標値	実績
スポーツクラブ登録件数	件	500	500	500	500	500	500	500
		実績	253	354	360			
		達成度	50.6%	70.8%	72.0%	0.0%	0.0%	0.0%
スポーツ大会、教室等の参加人数	人	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
		実績	2,472	16,508	14,294			
		達成度	82.4%	550.3%	476.5%	0.0%	0.0%	0.0%
村内スポーツ施設利用人数	人	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
		実績	104,595	167,912	145,207			
		達成度	87.2%	139.9%	121.0%	0.0%	0.0%	0.0%
体育協会加盟団体会員数	人	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
		実績	1,232	1,232	1,140			
		達成度	94.8%	94.8%	87.7%	0.0%	0.0%	0.0%
むらづくり指標の達成度		目標値						
		実績						
		達成度						
		目標値						
		実績						
		達成度						
		目標値						
		実績						
		達成度						

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
2-5-1 スポーツに親しむ機会の充実	拡充・強化		
2-5-2 競技スポーツの推進	現状維持		
2-5-3 スポーツ環境の整備・充実	拡充・強化		
※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/-			

全体総括	<p>スポーツクラブの登録件数及びスポーツ大会、教室の参加人数は初期値より増加しており、スポーツに親しむ機会の充実が図られ、競技スポーツの推進にも影響を及ぼしていると考えられる。しかし、体育協会加盟団体会員数は減少傾向にあり、競技スポーツからレクリエーション・生涯スポーツへとシフトしてきている。そのことから、村としても、より多くの村民がスポーツやレクリエーションに親しむ機会の創出を引き続き実施していく。</p>
------	---

総合評価	A
目標に向け順調に進んでいる	

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	補単	事業費(千円)		
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価			平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
2-5-1 スポーツに親しむ機会の充実													
	24 保健体育総務費(一般)	生涯学習課	-	-	-	-	-	-	-	単	4,082	4,087	4,113
	25 村民登山大会補助金	生涯学習課	B	B	B	A	C	継続	現状維持	単	300	300	300
	26 スポーツ教室諸費	生涯学習課	A	A	B	B	B	継続	現状維持	単	192	288	288
	27 西郷村シンボルスポーツ推進事業	生涯学習課	A	A	B	B	B	継続	現状維持	補	841	810	810
	28 親子富士登山事業	生涯学習課	B	C	C	A	B	継続	現状維持	単	48	500	500
2-5-2 競技スポーツの推進													
	29 村スポーツ少年団補助金	生涯学習課	A	A	B	B	A	継続	現状維持	単	1,225	1,225	1,225
	30 ふくしま駅伝参加補助金	生涯学習課	A	A	C	B	A	継続	現状維持	単	2,000	2,000	2,000
	31 西の郷ロードレース大会補助金	生涯学習課	B	B	B	B	B	継続	現状維持	単	3,000	2,500	2,500
	32 村体育協会補助金	生涯学習課	A	B	B	B	A	継続	現状維持	単	4,000	4,000	4,000
2-5-3 スポーツ環境の整備・充実													
	33 体育施設費(一般)	生涯学習課	-	-	-	-	-	-	-	単	3,353	2,156	2,156
	34 体育館管理費	生涯学習課	A	A	B	B	B	継続	現状維持	単	11,897	8,032	7,604
	35 野球場管理費	生涯学習課	B	A	B	B	B	継続	現状維持	単	6,931	5,322	5,550
	36 野球場管理費(臨時)	生涯学習課	B	A	B	B	B	継続	現状維持	単	994	1,100	1,100
	37 村民屋内プール管理費	生涯学習課	A	A	B	B	B	継続	現状維持	単	36,765	32,647	32,647
	38 グラウンド管理費	生涯学習課	B	A	B	B	B	継続	現状維持	単	4,222	2,919	2,919
	39 甲子高原子ども運動広場管理費	生涯学習課	B	A	B	B	B	継続	現状維持	単	1,109	2,066	766
	40 西郷村総合運動公園整備費	生涯学習課	B	B	B	B	B	継続	現状維持	単	233	12,327	0
	41 西郷村スポーツイベント等誘致促進事業補助金	生涯学習課	-	-	-	-	-	-	-	単	0	300	0
合計											81,192	82,579	68,478

基本施策評価シート

施策コード	2-6	主担当課	生涯学習課
基本施策	芸術・文化の振興	関連課名	
基本目標	2 自らを高め、共によりよく生きるむらづくり		

現状と課題	<p>○近年、地域の伝統文化や歴史に対する関心が高まり、その重要性が再評価されてきています。本村の誇れる文化を再発見し、むらづくりに活用していくことが必要です。</p> <p>○一方で、生活様式の多様化や少子化の進行等により、地域の歴史や文化、民俗芸能の継承が困難になりつつあります。伝統文化を後世につないでいくためにも、受け継ぐ若者の育成を図るとともに、より多くの村民が村の伝統文化に親しむ機会を拡充していくことが重要です。</p> <p>○心の豊かさが求められる時代において、村民が優れた芸術に触れ、気軽に文化活動に親しむことができる環境づくりが必要で</p> <p>す。</p> <p>○村では、優れた美術や音楽を鑑賞できる機会の創出や、各種教室の開催や文化活動団体への支援等を通じて、芸術・文化環境の充実に努めています。引き続き良質の芸術・文化に触れる機会拡充と環境整備を図っていく必要があります。</p>
-------	---

指標名	単位	初期値 (H27)	H29	H30	R元	R2	目標値 (R3)	
							目標値	実績
文化祭・美術展等の鑑賞者数	人	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
		2,026	2,738	2,585				
		88.1%	119.0%	112.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
文化協会加盟団体会員数	人	340	340	340	340	340	340	340
		331	299	326				
		97.4%	87.9%	95.9%	0.0%	0.0%	0.0%	
ふるさと西郷講座受講者数	人	150	150	150	150	150	150	150
		125	191	293				
		83.3%	127.3%	195.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
新しい「文化財制度」を含む指定文化財件数	件	20	20	20	20	20	20	20
		11	11	15				
		55.0%	55.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
民俗芸能・盆踊り補助金額	円	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000
		450,000	750,000	450,000				
		75.0%	125.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
文化センター利用件数	件	1,350	1,350	1,350	1,350	1,350	1,350	1,350
		1,306	1,660	1,802				
		96.7%	123.0%	133.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
むらづくり指標の達成度		目標値						
		実績						
		達成度						

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
2-6-2 文化活動の促進	現状維持		
2-6-3 文化財の保護・活用	現状維持		
2-6-4 伝統文化の継承支援	現状維持	※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/-	

全体総括	<p>平成30年度は通常の文化祭・美術展のみであったため、昨年度より減少しているが、目標値を上回っている。これは芸術文化が進展している一つの証左になるのではないかと考えられる。文化協会は公民館事業で行った「健康麻雀教室」がサークル化し、新たな単会として加盟したため、増加している。今後も同様な活動が必要である。</p> <p>文化財の保護・活用の面においては、ふるさと西郷講座の受講生が増加しており、また、新たな文化財制度を策定したことから、今後周知・啓発活動を展開する必要がある。伝統文化では盆踊り実施団体が平成30年度は2団体であったことから目標値を下回っている。しかし、補助内容の検討をして欲しいとの要望があり、検討していきたい。文化センターの利用件数も増加しており、今後より利用してもらえよう検討していきたい。</p>
------	---

総合評価	A
目標に向け順調に進んでいる	

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価							最終評価	事業費(千円)			
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価	補・単		平成30年度 (決算)	令和元年度 (予算)	令和2年度 (計画)	
2-6-1 良質な芸術文化にふれる機会の充実														
	42 文化祭実行委員会補助金	生涯学習課	A	A	A	B	B	継続	現状維持	単	400	400	400	
	43 総合美術展補助金	生涯学習課	A	A	B	A	C	継続	現状維持	単	300	300	300	
2-6-2 文化活動の促進														
	44 文化協会補助金	生涯学習課	A	A	B	B	A	継続	現状維持	単	471	471	471	
2-6-3 文化財の保護・活用														
	45 文化財保護費	生涯学習課	-	-	-	-	-	-	-	単	2,289	1,276	1,276	
	46 民俗資料館諸費	生涯学習課	A	C	B	B	A	継続	現状維持	単	747	1,997	1,997	
	47 盆踊り大会補助金	生涯学習課	A	A	A	B	A	継続	現状維持	単	150	450	450	
	48 ふるさと西郷講座事業費	生涯学習課	A	A	B	B	B	継続	現状維持	単	0	28	28	
	49 文化財保護費(臨時)	生涯学習課	A	B	A	A	A	継続	現状維持	単	4,390	670	1,158	
	50 明治150年関連事業	生涯学習課	B	A	B	A	A	終了	終了	単	597	0	0	
2-6-4 伝統文化の継承支援														
	51 上羽太天道念仏踊保存会補助金	生涯学習課	A	A	B	B	B	継続	現状維持	単	300	300	300	
2-6-5 芸術・文化活動拠点の整備														
	52 複合型文化施設建設事業	生涯学習課	-	-	-	-	-	-	-	単	0	0	0	
合計											9,644	5,892	6,380	

基本施策評価シート

施策コード	3-1	主担当課	産業振興課
基本施策	農林業の振興	関連課名	農業委員会事務局
基本目標	3 活力ある、交流とふれあいのむらづくり		

現状と課題

○農産物市場のグローバル化が一層進み、競争力の高い農産物の生産が求められています。また、米価の下落や担い手の高齢化など農業を取り巻く環境は厳しさを増しており、農業経営基盤の強化を図り、農家の所得向上・安定化につなげていくことが求められます。

○東日本大震災に伴う原子力発電所の事故による県内の農産物に対する風評被害が本村の農業にも影響を与えてきましたが、これまでの取り組み等により、徐々に回復しつつあります。

○村では、農業用排水路をはじめ農業生産基盤の強化に取り組むとともに、有機栽培生産支援や耕畜連携の推進等、安心・安全な農産物の生産を促進しています。今後も、生産経営基盤の強化を図りつつ、付加価値の高い農業づくりに取り組んでいく必要があります。

○林業では、原発事故により森林の荒廃が懸念されていることから、森林の生産活動の活性化と多面的機能の維持を図ることを目的として森林整備や木材利用の促進を図っています。引き続き森林再生に取り組むことで、森林環境・水環境の保全と有効活用につなげていく必要があります。

指標名	単位	初期値 (H27)	H29	H30	R元	R2	目標値 (R3)	
							目標値	実績
耕畜連携による参加農家数	目標値	75	75	75	75	75	75	75
	実績	67	62	68				
	達成度	89.3%	82.7%	90.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
認定農業者数	目標値	150	150	150	150	150	150	150
	実績	135	142	148				
	達成度	90.0%	94.7%	98.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
組織経営体数	目標値	3	3	3	3	3	3	3
	実績	2	1	1				
	達成度	66.7%	33.3%	33.3%	0.0	0.0	0.0	0.0
直売所出品者数	目標値	80	80	80	80	80	80	80
	実績	60	97	258				
	達成度	75.0%	121.3%	322.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
直売所販売金額	目標値	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
	実績	5,500	9,170	130,107				
	達成度	25.0%	41.7%	591.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
森林整備面積	目標値	35	35	35	35	35	35	35
	実績	32	35	40				
	達成度	91.4%	100.0%	114.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松くい虫被害木処理材積	目標値	150	150	150	150	150	150	150
	実績	106	105	135				
	達成度	70.7%	70.0%	90.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

個別施策名	方向性	個別施策名		方向性
		3-1-1	3-1-5	
3-1-1 生産基盤の整備	現状維持	3-1-5 森林再生	現状維持	
3-1-2 担い手の確保・経営強化	現状維持	3-1-6 森林の保護・活用	現状維持	
3-1-3 循環型農業の推進	現状維持			
3-1-4 6次産業化の推進	現状維持	※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/ー		

全体総括

生計を立てることができ持続可能な農林業経営を目指し多くの農業振興施策を行っている。意欲ある認定農業者に対する農業用機械の補助、耕畜連携の推進、H30.6月にオープンしたまるごと西郷館での農産物の販売。農家への農業資材費等への一部助成、農作物の被害防止のための有害鳥獣への対策を講じている。また、日常の管理における重労働の解消を図り、災害防止を図ることを目的に生産の基盤である水路・農道の整備を進めている。森林関係では、緑の大切さについて啓発し多面的機能をもつ森林保護を推進するため、森林整備を目的とした林道整備を進めていく。

総合評価

A

目標に向け順調に進んでいる

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	事業費(千円)			
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価		補単	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
3-1-1 生産基盤の整備													
1	農業振興費(一般)村病害虫防除推進協議会運営費補助金	産業振興課	-	-	-	-	-	-	単	100	100	100	
2	西郷村土地改良区運営事業	産業振興課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	6,000	3,500	3,500
3	農地費(一般)	産業振興課	-	-	-	-	-	-	単	1,597	1,678	1,670	
4	小規模道水路整備事業(臨時)	産業振興課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	42,810	38,566	46,231
5	地籍調査費	産業振興課	-	-	-	-	-	-	単	184	50	50	
6	農業基盤整備促進事業	産業振興課	-	-	-	-	-	-	単	0	0	10,000	
7	農村地域復興再生総合基盤総合整備事業	産業振興課	-	-	-	-	-	-	単	77,490	56,750	53,000	
8	農村地域防災減災事業	産業振興課	-	-	-	-	-	-	単	9,774	0	16,000	
9	新規就農者支援事業	産業振興課	A	B	A	A	A	継続	現状維持	単	1,788	1,200	600
10	農業施設用原材料支給事業	産業振興課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	474	1,050	1,200
11	農業振興地域整備計画策定事業	産業振興課	-	-	-	-	-	-	補	0	9,898	0	
3-1-2 担い手の確保・経営強化													
12	農業振興費(一般)	産業振興課	-	-	-	-	-	-	補	725	896	859	
13	農業経営基盤強化資金利子助成事業	産業振興課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	111	140	60
14	水田農業構造改革対策事業	産業振興課	B	A	B	A	A	継続	現状維持	単	8,945	8,924	8,852
15	新規就農者確保事業	産業振興課	-	-	-	-	-	-	補	15,000	12,000	9,000	
16	畜産費(一般)	産業振興課	-	-	-	-	-	-	単	26	31	31	
17	多面的機能支払交付金事業	産業振興課	A	A	B	A	A	継続	現状維持	補	28,302	29,666	29,455
18	東日本大震災農業生産対策事業	産業振興課	-	-	-	-	-	-	補	355,012	61,729	100,000	
19	農業振興費(一般)農業活動部会運営事業補助金	産業振興課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	50	50	50
20	環境保全型水田農業推進事業	産業振興課	A	B	B	A	A	継続	現状維持	単	127	190	250
21	水田農業改革支援事業	産業振興課	-	-	-	-	-	-	補	2,054	2,102	2,000	
22	農地中間管理機構事業	産業振興課	A	A	B	A	A	継続	現状維持	補	1,014	822	1,692
23	西郷村耕畜連携推進協議会補助金	産業振興課	A	A	A	B	A	継続	現状維持	単	600	500	0
24	西郷村施設園芸野菜振興対策事業	産業振興課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	2,178	2,300	2,000
25	畜産費(一般)酪農ヘルパー利用事業助成補助金	産業振興課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	1,181	1,630	2,000
26	農業実践教室(野菜編)開催事業	産業振興課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	297	300	250
27	西郷村有害野鳥獣捕獲隊運営事業	産業振興課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	2,274	2,659	2,659
28	鳥獣被害対策実施隊事業	産業振興課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	252	276	276
29	鳥獣被害防止対策交付金事業	産業振興課	-	-	-	-	-	-	単	0	0	0	
30	家畜伝染病予防事業費	産業振興課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	798	806	677
31	家畜伝染病予防事業費(牛結核・ブルセラ病・ヨーネ病)	産業振興課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	1,235	0	0
32	西郷村農業公社指定管理業務委託事業	産業振興課	A	A	A	B	A	継続	現状維持	単	7,500	7,500	7,500
33	農業委員会交付金等事業(農政推進事業)	農業委員会事務局	A	B	B	A	A	継続	現状維持	補	10,916	11,720	11,720
34	プロフェッショナル経営体創出事業	産業振興課	A	B	A	A	A	継続	現状維持	単	10,858	0	0
35	農学実践型教育プログラム事業	産業振興課	-	-	-	-	-	-	現状維持	単	0	1,107	0
36	強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業	産業振興課	-	-	-	-	-	-	現状維持	単	0	3,232	0

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	補・単	事業費(千円)			
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価			平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)	
3-1-3 循環型農業の推進														
	37	西郷村農産物直売所管理事業	産業振興課	A	A	B	B	A	継続	現状維持	単	60,218	0	0
	38	自給飼料増産対策事業	産業振興課	A	A	B	B	A	継続	現状維持	単	3,606	5,000	5,160
	39	畜産競争力強化対策事業	産業振興課	-	-	-	-	-	-	現状維持	単	0	0	0
3-1-4 6次産業化の推進														
	40	山村活性化支援交付金事業	産業振興課	A	A	B	A	A	終了	終了	単	1,938	0	0
	41	農業振興費(定住自立圏構想推進事業)	産業振興課	-	-	-	-	-	-	-	単	20	21	34
3-1-5 森林再生														
	42	ふくしま森林再生事業	産業振興課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	119,890	110,636	139,925
3-1-6 森林の保護・活用														
	43	森林環境譲与税事業	産業振興課	-	-	-	-	-	継続	現状維持	補	0	0	0
	44	林業総務費(一般)	産業振興課	-	-	-	-	-	-	-	単	544	524	524
	45	緑化推進事業(臨時)	産業振興課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	614	805	665
	46	林業振興費(一般)	産業振興課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	544	528	531
	47	林道整備事業(臨時)	産業振興課	-	-	-	-	-	継続	現状維持	単	0	4,218	0
	48	松くい虫防除事業(臨時)	産業振興課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	3,344	2,224	2,224
	49	森林整備事業	産業振興課	-	-	-	-	-	-	-	単	42	100	100
	50	林道改良事業	産業振興課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	10,476	25,275	15,000
	51	林業専用道整備事業	産業振興課	A	A	A	A	A	継続	-	補	9,454	17,934	0
	52	森林環境交付金事業	産業振興課	A	B	A	A	A	継続	現状維持	補	11,723	10,689	10,586
	53	林業専用道改良事業	産業振興課	-	-	-	-	-	-	現状維持	補	0	11,200	14,000
合計											812,085	439,326	486,431	

基本施策評価シート

施策コード	3-2	主担当課	産業振興課
基本施策	商工業の振興	関連課名	企画政策課
基本目標	3 活力ある、交流とふれあいのむらづくり		

現状と課題	<p>○社会経済のグローバル化の進展等により、製造業を中心に産業の空洞化が進んでいる中、本村には、精密機械工業をはじめ、多くの工場が立地しており、地域産業と雇用を支えています。今後も、本村の強みを活かした企業誘致を進めるとともに、製造業以外の企業の立地を促進していくことが課題となっています。</p> <p>○国は、日本再興戦略の中で、新たな有望成長市場として、IoT(モノのインターネット化)やビッグデータ、人工知能の活用、世界最先端の健康立国、環境・エネルギー分野への投資、スポーツの成長産業化等を掲げています。本村にある地域資源の活用と産学官、企業間連携等による戦略的な産業振興を図っていく必要があります。</p> <p>○長引く不況等を背景に、地域経済は疲弊しており、特に中小企業は厳しい経営状況に置かれています。経営の安定化を支援するとともに、新たな事業展開等を支援していくことが必要です。</p>
-------	--

指標名	単位	初期値(H27)	H29	H30	R元	R2	目標値(R3)	
							目標値	実績
村内企業数	社	目標値	535	535	535	535	535	535
		実績	522	522	522			
		達成度	97.6%	97.6%	97.6%	0.0%	0.0%	0.0%
製造業従業員数	人	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
		実績	3,851	3,851	3,851			
		達成度	96.3%	96.3%	96.3%	0.0%	0.0%	0.0%
創業支援事業計画を活用した村内創業者数	人	目標値	7	7	7	7	7	7
		実績	0	0	0			
		達成度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
卸売・小売業事業所数	事業所	目標値	115	115	115	115	115	115
		実績	108	108	108			
		達成度	93.9%	93.9%	93.9%	0.0%	0.0%	0.0%
むらづくり指標の達成度		目標値						
		実績						
		達成度						
		目標値						
		実績						
		達成度						
		目標値						
		実績						
		達成度						
		目標値						
		実績						
		達成度						

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
3-2-1 経営基盤強化支援	現状維持		
3-2-2 創業支援	現状維持		
3-2-3 企業誘致の推進	拡充・強化		
3-2-4 産学官連携・企業間連携の推進	現状維持	※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/-	

全体総括	<p>昨今の中小企業・小規模企業は、製造業・非製造業とも労働生産性が低下しており、大企業は、生産性を向上させていることにより地域内企業間の格差が生じている。また、生産年齢人口の減少や村内においては、大企業の工場の増設等による雇用拡大や新卒者等の大企業志向により人手不足が常態化しており、さらには設備の不足感や老朽化が進んでいるのも実情であり、IT投資に対する遅れや経営者の高齢化に伴う事業承継問題など村内の中小企業や小規模企業を取り巻く課題は山積みとなっているのが現状である。このように今後も中小企業・小規模企業の雇用の確保や企業間取引の拡大等を推進していくことが必要である。</p>
------	--

総合評価	B
目標に向けある程度進んでいる	

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価							最終評価	補・単	事業費(千円)		
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価	平成30年度(決算)			令和元年度(予算)	令和2年度(計画)	
3-2-1 経営基盤強化支援														
	1 中小企業対策費	産業振興課	A	B	B	B	A	継続	現状維持	補	91,360	93,739	93,660	
	2 商工団体指導費	産業振興課	A	A	A	A	B	継続	現状維持	単	6,134	6,514	6,200	
3-2-2 創業支援														
	4 商工費(一般)創業支援事業	産業振興課	B	C	B	B	B	継続	現状維持	補	2,000	2,500	2,500	
3-2-3 企業誘致の推進														
	5 企業誘致費	企画政策課	A	B	B	B	B	継続	拡大・拡充	単	3,608	656	613	
3-2-4 産学官連携・企業間連携の推進														
	6 しらかわ地域ものづくり高度化・海外展開促進事業	産業振興課	B	C	B	B	B	継続	現状維持	補	2,295	2,200	0	
合計											105,397	105,609	102,973	

基本施策評価シート

施策コード	3-3	主担当課	産業振興課
基本施策	観光・交流の活性化	関連課名	企画政策課
基本目標	3 活力ある、交流とふれあいのむらづくり		

現状と課題	<p>○個人のライフスタイルや価値観の多様化に伴い、観光目的も多様化してきています。観光資源を活かしつつ、その地域でしか体験できない魅力を創出・発信していく必要があります。また、観光を産業振興につなげていくためには、滞在期間の長期化とリピート率の向上を図っていく必要があります。</p> <p>○村では、国道289号線甲子トンネル開通等を機に、周辺市町村と連携した広域観光の推進に取り組むとともに、観光協会を発足し、積極的な誘客や観光PRに取り組んでいます。今後は、地元事業者や地域住民を含めた多様な関係者と連携し、「着地型観光」を推進する体制づくりが必要です。</p> <p>○情報通信技術の発展により、ホームページやSNSをはじめ、各種メディアによって観光に関する情報収集や情報発信が簡易にできる環境が整備されてきています。メディア等を有効活用し、本村の四季折々の魅力を広く伝えていく必要があります。</p>
-------	--

指標名	単位	初期値(H27)	H29	H30	R元	R2	目標値(R3)
観光客入込数	人	375,000	375,000	375,000	375,000	375,000	375,000
		344,171	277,200	296,240			
		91.8%	73.9%	79.0%	0.0%	0.0%	0.0%
日本版DMOの設置	-	設置	設置	設置	設置	設置	設置
		未設置	未設置	未設置			
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
観光客宿泊者数	人	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
		101,987	92,256	91,832			
		85.0%	76.9%	76.5%	0.0%	0.0%	0.0%
イベントによる交流人口	人	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
		21,000	25,640	20,850			
		70.0%	85.5%	69.5%	0.0%	0.0%	0.0%
スポーツ合宿で村に訪れた人数	人	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
		1,676	2,340	2,592			
		83.8%	117.0%	129.6%	0.0%	0.0%	0.0%
移住相談件数	件	30	30	30	30	30	30
		0	10	10			
		0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
むらづくり指標の達成度		目標値					
		実績					
		達成度					

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
3-3-1 着地型観光の推進	拡充・強化	3-3-5 交流・イベントの開催・誘致	現状維持
3-3-2 情報発信・観光プロモーション	現状維持	3-3-6 広域観光の推進	現状維持
3-3-3 観光資源の整備	拡充・強化		
3-3-4 合宿の里づくりの推進	現状維持	※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/-	

全体総括	<p>着地型観光へ取り組みを始めたばかりであり、今後とも調査研究をしながら推進していく。</p> <p>観光客を誘客するためには、村内観光地のPRは必要であるが、単にパンフレットの配布やイベントへの参加だけでは観光客の増加は期待できない。魅力ある観光地づくりと特産品の開発とあわせて、PRする方法が効果的である。</p> <p>来訪者への利便性を高めるため、アクセス道路の整備、案内板の設置、また、トイレ、駐車場の整備は欠かせないものとなっている。来訪者に悪いイメージを与えないように改善、整備を図る必要がある。</p> <p>家族旅行村及び温泉健康センターは、指定管理で管理を行っているが、施設も老朽しており、現状のまま維持することが困難になってきている。平成30年度において行った経営分析を基に、検討委員会の場で今後の在り方を模索する必要がある。</p>
------	---

総合評価	B
目標に向けある程度進んでいる	

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	事業費(千円)			
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価		補・単	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
3-3-1 着地型観光の推進													
7	観光費(着地型観光)	産業振興課	A	A	B	B	B	継続	現状維持	単	178	1,043	1,830
3-3-2 情報発信・観光プロモーション													
8	観光費(情報発信・観光プロモーション)	産業振興課	A	B	B	A	B	継続	現状維持	補	9,753	16,677	13,045
3-3-3 観光資源の整備													
9	観光施設整備費	産業振興課	A	B	B	A	B	継続	現状維持	単	10,706	5,132	35,132
10	家族旅行村事業	産業振興課	C	B	C	B	C	継続	現状維持	単	17,320	16,141	16,141
11	温泉健康センター事業	産業振興課	B	B	C	B	C	継続	現状維持	単	29,672	28,129	32,325
12	観光地活性化事業	産業振興課	B	B	B	C	B	継続	現状維持	単	4,951	4,740	4,740
13	(仮称)道の駅「にしごう」整備事業	企画政策課	A	B	A	B	A	継続	現状維持	単	2,160	10,001	120,000
3-3-4 合宿の里づくりの推進													
14	観光費(合宿の里づくり推進事業)	産業振興課	A	A	B	B	B	継続	現状維持	単	300	300	300
3-3-5 交流・イベントの開催・誘致													
15	観光費・商工費(交流イベント事業)	産業振興課	A	B	B	A	B	継続	現状維持	補	12,289	5,206	5,206
16	移住・定住促進事業	企画政策課	A	C	B	B	A	継続	現状維持	単	70	70	70
3-3-6 広域観光の推進													
17	サイクルツーリズム推進事業	産業振興課	B	B	A	A	B	継続	現状維持	補	677	410	410
18	観光費(広域連携推進事業)	産業振興課	-	-	-	-	-	-	-	単	1,274	1,438	1,438
合計											75,040	82,163	223,513

基本施策評価シート

施策コード	4-1	主担当課	建設課
基本施策	道路・公共交通の整備	関連課名	企画政策課
基本目標	4 快適に暮らし、利便性の高いむらづくり		

現状と課題	<p>○本村は、新幹線停車駅と高速道路のインターチェンジがともに立地する唯一の村であり、また、村内には国道4号が南北に、国道289号が東西に横断するなど、広域高速交通網が大きな強みとなっています。</p> <p>○高度経済成長期に整備された道路・橋梁の老朽化が進み、維持管理及び長寿命化の重要性が高まっています。整備には大きな財政負担がかかることから、安全な道路の確保に向けて、適切なアセットマネジメントによる維持管理を行っていく必要があります。</p> <p>○高齢者など公共交通に頼らざるを得ない村民の交通手段の確保が重要な課題のひとつとなっています。地域における移動特性を踏まえつつ、既存の移送サービスにおける柔軟な運用も含め、多様な主体、事業者等による移動ネットワークを再構築していく必要があります。</p>
-------	--

指標名	単位	初期値 (H27)	H29	H30	R元	R2	目標値 (R3)	
							目標値	実績
路線バス利用者数	千人	48	48	48	48	48	48	48
		46	42	40				
		95.8%	87.5%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
歩道設置延長数	Km	50.0	48.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		48.5	48.4	48.4				
		97.0%	100.8%	96.8%	0.0%	0.0%	0.0%	
歩道除雪隊登録数	団体	15	15	15	15	15	15	15
		12	16	17				
		80.0	106.7	113.3	0.0	0.0	0.0	
むらづくり指標の達成度		目標値						
		実績						
		達成度						
		目標値						
		実績						
		達成度						
		目標値						
		実績						
		達成度						
		目標値						
		実績						
		達成度						

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
4-1-2 生活道路の安全確保	現状維持		
4-1-3 除雪体制の強化	現状維持		
4-1-4 道路の長寿命化	現状維持	※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/-	

全体総括	<p>・歩道未設置村道等に歩道を設置することにより、通学児童等通行における交通安全に寄与するほか、道路側溝等の改良を行うことによる道路排水性能の向上を図る。(建設課)</p> <p>・道路等の歩道除雪を、村が貸与する小型除雪機により住民団体が実施し、村の村道等除雪作業との協働作業を実施することにより、児童等歩行者の交通安全に寄与する。村から住民団体には奨励金を交付することにより作業時の保険加入を促し方が一の事故などに対する補償対応を図る。(建設課)</p>
------	--

総合評価	A
目標に向け順調に進んでいる	

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	補・単	事業費(千円)		
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価			平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
4-1-1 計画的な道路整備の推進													
	1 土木総務費(一般)	建設課	-	-	-	-	-	-	-	単	455	475	474
	2 道路維持費(一般)	建設課	A	B	A	A	A	継続	現状維持	補	5,437	4,793	5,600
	3 道路橋梁総務費(一般)	建設課	-	-	-	-	-	-	-	単	523	769	755
	4 白河布引山演習場周辺道路改修等事業	建設課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	571,339	845,192	235,935
	5 社会資本整備総合総合交付金事業(新設・改良)P1	建設課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	17,701	67,067	67,067
4-1-2 生活道路の安全確保													
	6 道路橋梁総務費(一般:管理)	建設課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	8,593	14,875	8,200
	7 村道維持補修事業	建設課	A	B	A	A	A	継続	現状維持	補	49,055	27,695	47,000
	8 小規模水道路整備事業	建設課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	124,952	54,952	52,000
	9 社会資本整備総合総合交付金事業(防災・安全)P9	建設課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	36,772	41,000	41,096
	10 現年災	建設課	-	-	-	-	-	-	-	単	0	2	2
4-1-3 除雪体制の強化													
	11 除雪費	建設課	A	A	B	B	A	継続	現状維持	単	33,118	6,910	18,620
4-1-4 道路の長寿命化													
	12 社会資本整備総合総合交付金事業(防災・安全)P2	建設課	A	B	B	A	A	継続	現状維持	補	45,144	52,000	10,000
	13 社会資本整備総合総合交付金事業(防災・安全)P6	建設課	A	A	B	A	A	継続	現状維持	補	38,134	49,000	80,000
4-1-5 公共交通網の再編													
	14 市町村生活交通対策事業	企画政策課	A	B	B	A	A	継続	現状維持	補	45,175	72,002	66,751
合計											976,398	1,236,732	633,500

基本施策評価シート

施策コード	4-2	主担当課	上下水道課
基本施策	上下水道の整備	関連課名	
基本目標	4 快適に暮らし、利便性の高いむらづくり		

現状と課題	<p>○本村は、阿武隈川の源流を有しており、河川の水質汚濁を防止し、きれいな水を下流域の市町村に引き継ぐ責務があります。</p> <p>○上下水道整備においては、施設の老朽化の進行や震災による被害の経験等を踏まえ、社会基盤である施設の長寿命化、耐震化が求められています。また、これまでの拡張の方向性から、持続性と安全・安心の確保という方向性に転換されてきています。</p> <p>○公共下水道、農業集落排水及び合併浄化槽による整備が進み、村域はほぼカバーできつつあります。そのため、今後は啓発活動等により住民の意識向上を図り、未加入世帯の接続を促進するとともに、持続的で安定したサービスの提供を目指し、経営の強化を図っていく必要があります。</p> <p>○世帯数の増加に伴い、新たな水需要が必要です。水源の水量と水質を確保しつつ、安全でおいしい水の供給に取り組んでいく必要があります。</p>
-------	---

指標名	単位	初期値 (H27)	H29	H30	R元	R2	目標値 (R3)	
							目標値	実績
水道有収率	%	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
		78.9	78.8	79.5				
		92.8%	92.7%	93.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
下水道接続率(合併処理浄化槽含む)	%	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0
		81.7	82.2	83.9				
		93.9%	94.5%	96.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
むらづくり指標の達成度		目標値						
		実績						
		達成度						
		目標値						
		実績						
		達成度						
		目標値						
		実績						
		達成度						
		目標値						
		実績						
		達成度						

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
4-2-1 汚水の適正処理	現状維持		
4-2-2 水の安定供給と水質保全	現状維持		
4-2-3 上下水道事業の安定経営	現状維持		
4-2-4 ストックマネジメントの推進	現状維持	※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/-	

全体総括	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道計画区域内の未普及地区整備、供用開始区域の未接続世帯について戸別訪問等により接続率向上及び水質汚濁防止に取り組んでいく。 ・上下水道施設について、計画的に老朽管の更新、上水道の漏水調査、下水道の不明水対策をおこない有収率向上に努めていく。 ・下水道事業については、将来にわたり事業の安定経営を目指すため、平成32年度からの地方公営企業法適用に向け取り組んでいく。 ・農業集落排水(上野原、真船地区)を公共下水道へ統合し維持管理費の経費削減に努める。
------	---

総合評価	A
目標に向け順調に進んでいる	

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	補・単	事業費(千円)		
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価			平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
4-2-1 汚水の適正処理													
	15 浄化槽設置整備事業(一般)	上下水道課	A	A	B	B	A	継続	現状維持	補	3,708	4,044	4,145
	16 公共下水道維持管理費	上下水道課	-	-	-	-	-	-	-	補	163,798	142,059	142,059
	17 農業集落排水事業維持管理	上下水道課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	41,737	45,063	45,063
	18 公共下水道事業公債費	上下水道課	-	-	-	-	-	-	-	補	287,334	288,666	291,125
	19 農業集落排水事業公債費	上下水道課	-	-	-	-	-	-	-	補	130,416	130,417	130,416
	20 公共下水道事業(補助)	上下水道課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	149,461	96,400	80,000
	21 公共下水道事業(単独)	上下水道課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	120,876	106,827	106,827
4-2-2 水の安定供給と水質保全													
	22 上水道事業(建設改良費)	上下水道課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	131,308	147,400	10,450
4-2-3 上下水道事業の安定経営													
	23 地方公営企業法適用事業	上下水道課	A	A	C	A	A	継続	現状維持	補	13,500	16,500	0
	24 経営戦略策定業務委託(債務負担行為)	上下水道課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	22,140	0	0
4-2-4 ストックマネジメントの推進													
	25 上水道事業(建設改良費)	上下水道課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	55,695	66,550	22,000
合計											1,119,973	1,043,926	832,085

令和 元 年度 実施

基本施策評価シート

施策コード	4-3	主担当課	建設課
基本施策	住環境の整備	関連課名	生涯学習課 企画政策課
基本目標	4 快適に暮らし、利便性の高いむらづくり		

現状と課題	<p>○村民の本村における住みやすさに対する評価は高く、特に自然と調和した緑豊かな住環境の満足度が高くなっています。今後も、豊かな自然や里山風景と調和した居住空間づくりを進めていく必要があります。</p> <p>○隣接する白河市のベッドタウン的な位置にあります。昼間人口は白河市からの流入が多くなっており、子育て世代にとって魅力ある住環境を整備していくことが定住促進につながるひとつの課題といえます。</p> <p>○東日本大震災以降も全国各地で地震による災害が発生しており、村民の生命と財産を守るためにも、住宅の耐震化を進めていく必要があります。</p> <p>○情報通信機器の急速な普及に伴い、情報通信基盤は重要な社会インフラのひとつになってきています。情報通信の安定した利用環境の維持改善を行っていく必要があります。</p> <p>○本格的な人口減少社会を迎え、また、高齢化率の増加も予想されることから、都市基盤においても社会構造の変化に柔軟に対応した整備の推進が求められます。公共的施設と居住等がまとまって立地し、生活利便施設にアクセスしやすいコンパクトな空間形成を進めていくことが重要です。</p>
-------	--

指標名	単位	初期値 (H27)	H29	H30	R元	R2	目標値 (R3)
村営住宅入居率	%	目標値	100.0	96.0	100.0	100.0	100.0
		実績	96.0	98.0	97.1		
		達成度	96.0%	102.1%	97.1%	0.0%	0.0%
定住促進住宅入居率	%	目標値	75.0	67.0	75.0	75.0	75.0
		実績	67.0	65.0	61.2		
		達成度	89.3%	97.0%	81.6%	0.0%	0.0%
むらづくり指標の達成度		目標値					
		実績					
		達成度					
		目標値					
		実績					
		達成度					
		目標値					
		実績					
		達成度					
		目標値					
		実績					
		達成度					

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
4-3-1 住環境の整備	現状維持	4-3-5 コンパクトなむらづくりの推進	—
4-3-2 公営住宅の整備	現状維持		
4-3-3 公園・緑地の管理	現状維持		
4-3-4 情報通信基盤の管理	—	※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/—	

全体総括	<p>村内及び村外から転入する低所得者などの住宅困窮者に対する住宅供給措置として、健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転貸することにより、住民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することは重要である。(建設課)</p>	<p>総合評価</p> <p>A</p> <p>目標に向け順調に進んでいる</p>
------	--	--

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	補・単	事業費(千円)		
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価			平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
4-3-1 住環境の整備													
26	河川管理費(一般)	建設課	-	-	-	-	-	-	—	補	161	174	134
27	都市計画総務費(一般)	建設課	A	A	B	A	A	継続	現状維持	補	4,195	994	694
28	駐車場運営事業	建設課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	2,279	2,559	2,172
29	まちおこしセンター運営事業費	建設課	-	-	-	-	-	-	—	補	761	1,904	1,827
30	区画整理費	建設課	-	-	-	-	-	-	—	補	26	26	26
31	ブロック塀撤去新設等補助事業	建設課	-	-	-	-	-	-	—	補	0	1,500	1,500
32	木造住宅耐震診断促進事業、耐震改修支援事業	建設課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	0	196	1,190
33	地区集会施設補助金	生涯学習課	A	B	B	A	B	継続	現状維持	単	79	200	250
34	地区コミセン等管理費	生涯学習課	A	A	A	B	B	継続	現状維持	単	18,368	3,117	376
4-3-2 公営住宅の整備													
35	住宅管理費(一般)	建設課	-	-	-	-	-	-	—	補	852	434	800
36	公営住宅管理費(一般)	建設課	A	A	B	A	A	継続	現状維持	補	123,708	12,025	12,968
37	公営住宅管理費(臨時)	建設課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	69,532	8,619	0
38	定住促進住宅管理費(一般)	建設課	A	B	C	A	A	継続	現状維持	補	1,741	1,972	1,741
39	川谷定住促進住宅管理費(一般)	建設課	A	B	B	A	A	継続	現状維持	補	754	818	592
4-3-3 公園・緑地の管理													
40	公園費(一般)	建設課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	8,766	6,522	6,135
4-3-4 情報通信基盤の管理													
41	地域情報システム等情報管理	企画政策課	A	B	B	B	A	継続	現状維持	補	79,573	86,122	80,332
4-3-5 コンパクトなむらづくりの推進													
42	土地利用規制対策事業	企画政策課	A	C	A	A	A	継続	現状維持	補	218	101	100
43	国土利用計画	企画政策課	A	B	A	A	A	継続	現状維持	単	0	4,400	0
合計											311,013	131,683	110,837

事務事業評価(実施計画)

基本施策評価シート

施策コード	5-1	主担当課	健康推進課
基本施策	健康づくりの推進	関連課名	産業振興課
基本目標	5 自分らしく生き、笑顔があふれるむらづくり		

現状と課題

○生活水準の向上等により疾病構造が変化し、がん・心疾患・脳血管疾患等の生活習慣病が死因の多くを占めるようになっていきます。また、高齢化の進行等により、医療や介護にかかる社会保障費が増大してきており、財政面からも健康づくりは大きな課題となっています。

○日常の運動や食事などの生活習慣が健康づくりの大きな要素となっていることから、村民一人一人が健康に対する意識を持ち、実践していくことのできる環境づくりを推進していく必要があります。

○近年は、マスメディアやインターネット等を通じて健康や疾病等に関する情報が容易に得られる一方、専門的な見地による情報のみとは限らないため、村民に対して健康に関する正しい情報を積極的に提供していく必要があります。

○村では、健診事業等を通じて疾病の早期発見・早期治療や健康に関する正しい知識の普及、生活習慣の改善につながる取り組みを推進しています。今後は、村民のより一層の健康に対する関心を高めるとともに、地域における自主的な健康づくり活動に向けた環境の整備を図っていく必要があります。

○近年の社会構造の変化、複雑化等により、強いストレスを感じる人も多くなってきており、こころの健康づくりを推進していくことが必要です。

指標名	単位	初期値 (H27)	H29	H30	R元	R2	目標値 (R3)
からだの学校参加者数	目標値	170	170	170	170	170	170
	実績	120	170	212			
	達成度	70.6%	100.0%	124.7%	0.0%	0.0%	0.0%
特定健康診査受診率	目標値	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0
	実績	41.6	41.8	44.6			
	達成度	92.4%	92.9%	99.1%	0.0%	0.0%	0.0%
運動習慣者の割合の増加	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	実績	39.1	52.3	52.3			
	達成度	78.2	104.6	104.6	0.0	0.0	0.0

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
5-1-2 生活習慣病予防・がん対策の推進	現状維持		
5-1-3 食育の推進	現状維持		
5-1-4 こころの健康づくり	現状維持	※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/-	

全体総括

村民一人一人が健康に対する意識を持ち、実施していくことのできる環境づくりのための施策を展開していく必要がある。

総合評価

A

目標に向け順調に進んでいる

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	補単	事業費(千円)		
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価			平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
5-1-1 健康づくりの推進													
1	健康づくり事業	健康推進課	A	A	A	A	B	継続	現状維持	単	818	1,018	1,018
2	健康づくり事業(健康増進・保健衛生総務費)	健康推進課	B	B	B	A	B	継続	現状維持	補	761	1,123	1,123
3	からだの学校事業	健康推進課	B	A	A	B	A	継続	現状維持	単	3,625	3,965	3,965
4	保健福祉センター管理費	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	16,499	9,718	9,718
5-1-2 生活習慣病予防・がん対策の推進													
5	住民健診事業	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	24,345	27,844	27,844
6	健康管理システム事業	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	2,820	2,845	2,845
5-1-3 食育の推進													
7	食育推進事業	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	0	0	0
5-1-4 こころの健康づくり													
8	自殺対策事業(保健衛生総務費)	健康推進課	A	A	A	B	B	継続	現状維持	補	316	394	394
5-1-5 感染症予防の推進													
9	予防接種事業	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	56,710	68,215	68,215
合計											105,894	115,122	115,122

基本施策評価シート

施策コード	5-2	主担当課	健康推進課
基本施策	医療の充実	関連課名	住民生活課
基本目標	5 自分らしく生き、笑顔があふれるむらづくり		

現状と課題	<p>○医療体制の充実、村民の生命と健康を守る重要な施策であり、各医療機関における連携強化を促進するとともに、県及び近隣自治体等と連携を図りながら、村民の誰もが質の高い医療を安心して受けられる環境を確保していく必要があります。</p> <p>○地域医療において、日常的な健康状態の把握のみならず、介護・福祉との連携や在宅医療の実施、専門的な医療へのつなぎ等を行う「かかりつけ医」が重要視されています。普段から顔の見える身近な存在であるかかりつけ医の普及・定着を図っていく必要があります。</p> <p>○本村は、入院医療及び専門外来医療を提供する二次医療圏について、白河市を含む県南医療圏に属しており、県及び関係市町村と連携し、地域医療体制の整備を進めていく必要があります。</p> <p>○高齢化の進行等に伴い、医療費が増大しており、持続可能な医療の確保が課題となっています。各医療機関が担う役割を踏まえ、状態に応じた適正な医療受診を促進していく必要があります。</p>
-------	--

指標名	単位	初期値(H27)	H29	H30	R元	R2	目標値(R3)
							目標値
かかりつけ医がいる人の割合	目標値	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
	実績	69.3	74.0	74.0			
	達成度	92.4%	98.7%	98.7%	0.0%	0.0%	0.0%
国民健康保険一人当たり費用額 (医科・歯科・調剤・訪問看護・食生活療養) ※H29:実績がでないためH28実績値を計上	目標値	310	310	310	310	310	310
	実績	279	287	289			
	達成度	90.0%	92.6%	93.2%	0.0%	0.0%	0.0%
後期高齢者健診受診率	目標値	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
	実績	17.9	20.0	24.0			
	達成度	59.7	66.7	80.0	0.0	0.0	0.0

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
5-2-2 かかりつけ医の普及	現状維持		
5-2-3 適正受診の促進	現状維持		
5-2-4 国民健康保険制度への支援	現状維持	※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/-	

全体総括	医療体制の充実を図ることは、村民の生命と健康を守る重要な施策である為、県や近隣市町村との連携を図る
------	---

総合評価	A
目標に向け順調に進んでいる	

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	補単	事業費(千円)		
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価			平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
5-2-1 地域医療体制の強化													
10	地域医療の確保	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	6,942	7,161	7,161
11	第二次救急医療運営費	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	8,871	9,672	9,672
5-2-2 かかりつけ医の普及													
12	かかりつけ医の普及	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	0	0	0
5-2-3 適正受診の促進													
13	保健事業(国民健康保険特別会計)	住民生活課	A	A	C	A	A	継続	現状維持	補	20,131	23,159	23,159
5-2-4 国民健康保険制度への支援													
14	社会福祉総務費(国民健康保険特別会計繰出金)	住民生活課	-	-	-	-	-	-	-	補	103,723	104,409	104,409
5-2-5 後期高齢者医療制度への支援													
15	後期高齢者医療事業費(事務費)	住民生活課	-	-	-	-	-	-	-	補	137,927	139,055	139,055
16	後期高齢者医療事業費(特別会計繰出金)	住民生活課	-	-	-	-	-	-	-	補	174,907	171,781	171,781
合計											452,501	455,237	455,237

基本施策評価シート

施策コード	5-3	主担当課	健康推進課
基本施策	高齢者福祉の充実	関連課名	生涯学習課
基本目標	5 自分らしく生き、笑顔があふれるむらづくり		

現状と課題
 ○高齢者人口の増加に伴い、介護ニーズが増大しています。いわゆる団塊の世代が75歳以上になる2025年以降には、ますます要介護高齢者の増加が見込まれることから、介護を担う機関・人材の確保を図るとともに、できるだけ要介護状態にならないよう、介護予防の推進を図っていく必要があります。
 ○高齢者が生きがいを感じ住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、PPK(ピンピンキラリのむらづくり)に取り組むとともに、地域包括支援センターの機能強化、在宅医療・介護連携の推進などを図り、更なる地域包括ケアシステムの整備、また、健康寿命を延ばす環境づくりに取り組めます。
 ○村では、高齢者に対する包括的な支援を行うため、地域包括支援センターを設置運営しているほか、高齢者福祉に関する総合的な相談窓口として「高齢者福祉トータルサポートセンター」を村内3か所に設置しています。今後も、高齢者や家族に寄り添う支援を行うとともに、支援を担う多様な団体等の育成を図っていく必要があります。
 ○人口の3人に1人が高齢者となる超高齢社会を迎えようとしている中、高齢者には、できるだけ長く健康的で自立した生活を送るとともに、地域社会を支える担い手として活躍していくことが期待されています。一人一人が持つ能力や意欲に応じたボランティア活動等に積極的に取り組むことができる仕組みづくりが必要です。

むらづくり指標の達成度	指標名		単位	初期値(H27)	H29	H30	R元	R2	目標値(R3)
	要支援・要介護認定率		%	目標値	15.8	15.8	15.8	15.8	15.8
			実績	16.0	15.1	15.0			
			達成度	98.8%	104.6%	105.3%	0.0%	0.0%	0.0%
寿学級参加者数		人	目標値	100	100	100	100	100	100
			実績	70	66	58			
			達成度	70.0%	66.0%	58.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ボランティアによる地域包括ケアの担い手の育成		団体	目標値	1	1	1	1	1	1
			実績	0	0	0			
			達成度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

個別施策の評価	個別施策名		方向性	個別施策名	方向性
	5-3-1	社会参加・生きがいづくり	拡充・強化	5-3-5	自立・生活支援の充実
5-3-2	地域包括ケアシステムの充実	拡充・強化			
5-3-3	介護サービスの充実	現状維持			
5-3-4	高齢者の権利擁護	拡充・強化	※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/ー		

全体総括
 高齢者に対する包括的な支援を行うため、地域包括支援センターを設置し、高齢者福祉に関する総合的な相談窓口を行っている。また、トータルサポートセンターにおいては高齢者の実態把握を行い情報共有を図るとともに、地域課題等の吸い上げ等もを行っている。高齢者が安心して生活できるよう様々な施策を展開するとともに介護サービスの充実にむけ、関係団体等と連携し事業を行っている。また、社会参加・生きがいづくりの事業として寿学級を実施している。登録者が年々減少しているため、講座の内容や開催場所等を検討し、超高齢社会に対応していかなくてはならない。

総合評価	A
目標に向け順調に進んでいる	

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	事業費(千円)			
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価		補単	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
5-3-1 社会参加・生きがいづくり													
17	一般介護予防事業	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	6,031	9,352	7,879
18	高齢者健康づくり推進事業	健康推進課	A	A	A	B	A	継続	現状維持	補	205	200	200
19	敬老会諸費	健康推進課	A	A	B	A	A	継続	現状維持	単	14,558	17,647	20,304
20	高齢者温泉無料開放事業	健康推進課	B	A	A	B	B	継続	現状維持	単	445	7,483	7,490
21	外出支援サービス事業	健康推進課	B	A	A	A	A	継続	縮小・統合	単	15,630	7,390	0
22	老人クラブ補助事業	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	1,424	1,324	1,224
23	高齢者生活支援センター運営事業	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	485	485	485
24	西郷村老人温泉利用助成事業	健康推進課	C	C	C	C	C	休止・廃止	縮小・統合	単	14	0	0
25	高齢者就業機会確保事業	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	3,644	3,644	3,644
26	寿学級	生涯学習課	A	A	B	A	B	継続	現状維持	単	621	588	588
5-3-2 地域包括ケアシステムの充実													
27	包括的支援事業・任意事業費 包括的支援事業	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	13,876	25,760	25,760
28	包括的支援事業・任意事業費 任意事業	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	1,315	1,736	1,736
29	包括的支援事業・任意事業費 包括的支援事業(社会保障充実分)	健康推進課	A	A	B	A	A	継続	現状維持	補	0	2,643	2,643
30	包括的支援事業在宅医療・介護連携推進事業	健康推進課	A	A	A	B	A	継続	現状維持	単	16,082	16,340	13,490
5-3-3 介護サービスの充実													
31	一般管理費(介護保険事業、地域支援事業)	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	16,082	16,340	13,490
32	運用事業費	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	39,976	15,197	27,515
33	介護予防・生活支援サービス事業・介護予防ケアマネジメント事業	健康推進課	A	A	B	A	A	継続	現状維持	補	26,290	34,708	34,708
34	介護給付 介護サービス等諸費	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	1,012,236	1,090,768	1,090,768
35	介護給付 介護予防サービス等諸費	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	16,266	17,757	17,757
36	賦課徴収費	健康推進課	A	B	B	A	A	継続	現状維持	単	994	1,079	1,098
37	第1号被保険者保険料還付事業	健康推進課	A	A	B	A	A	継続	現状維持	補	1,433	1,046	1,100
38	趣旨普及費	健康推進課	A	A	B	A	A	継続	現状維持	単	0	702	702
39	特定入所者介護予防・介護サービス事業	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	52,703	56,948	56,948
40	高額介護サービス等費	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	20,576	21,029	21,029
41	審査支払手数料	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	899	919	919
42	認定調査費	健康推進課	A	A	A	B	A	継続	現状維持	単	14,613	17,854	17,888
43	高額医療合算介護サービス等費	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	2,620	3,952	3,952
44	寝たきり等高齢者紙おむつ支給事業	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	6,723	6,564	6,713
45	要介護等高齢者介護者激励金支給事業	健康推進課	A	A	A	A	B	継続	現状維持	単	2,175	3,750	4,000
46	介護保険事業特別会計繰出金	健康推進課	-	-	-	-	-	-	-	補	183,965	207,057	191,944
47	原発避難者特例法に基づく特例事務作業	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	51	88	89
48	地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金事業	健康推進課	-	-	-	-	-	-	-	単	0	0	0
49	要介護等高齢者介護者慰労事業	健康推進課	A	A	A	A	B	継続	現状維持	単	0	390	390
5-3-4 高齢者の権利擁護													
50	老人保護措置費	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	0	390	390

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	補・単	事業費(千円)		
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価			平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
5-3-5 自立・生活支援の充実													
51	社会福祉総務費	健康推進課	-	-	-	-	-	-	-	補	4	13	13
52	老人福祉総務費(一般)	健康推進課	-	-	-	-	-	-	-	補	72	7,655	4,598
53	生きがい活動支援通所事業	健康推進課	A	B	A	A	B	継続	現状維持	単	241	742	742
54	訪問理美容サービス事業	健康推進課	A	B	A	A	A	継続	現状維持	単	56	84	108
55	社会福祉法人等利用者負担軽減事業	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	0	340	540
56	在宅老人短期保護事業	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	0	42	42
57	軽度生活援助事業	健康推進課	A	B	A	A	A	継続	現状維持	補	515	931	1,176
58	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業	健康推進課	A	B	A	A	A	継続	現状維持	単	603	900	940
59	西郷村老人日常生活用具給付事業	健康推進課	C	C	C	B	C	継続	縮小・統合	単	0	44	44
60	見守り安心ネットワーク事業	健康推進課	A	A	B	A	A	継続	現状維持	単	11,260	12,161	15,000
61	地域支え合い体制づくり事業	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	8,472	8,910	10,500
62	高齢者福祉台帳整備事業	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	1,867	1,445	145
63	高齢者見守り活動事業	健康推進課	A	A	A	B	A	継続	現状維持	単	0	65	70
64	デイサービスセンター費	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	1,260	1,260	1,260
65	西郷村はり・きゅう・マッサージ等施術費用助成事業	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	666	720	1,000
66	高齢者にやさしい住まいづくり助成事業	健康推進課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	3,649	4,000	4,500
合計											1,471,932	1,591,130	1,576,843

基本施策評価シート

施策コード	5-4	主担当課	福祉課
基本施策	障がい者福祉等の充実	関連課名	企画政策課
基本目標	5 自分らしく生き、笑顔があふれるむらづくり		

現状と課題

○社会環境の複雑化に伴い、障がい者(児)の状況も複雑かつ多岐にわたるようになってきました。特に、精神障がい者の増加が顕著なほか、学習障がいや高機能自閉症などを含む発達障がい者が支援の対象として明記されるなど、よりきめ細かな支援が求められています。

○障がい者自身や家族の高齢化、核家族化の進展による家族での介助・支援機能の低下など、障がい者(児)を取り巻く環境は変化し、家族の負担や不安も大きなものとなっています。一人一人の状況に応じたきめ細かなサービスが提供できる基盤の整備を図るとともに、必要な支援を受けることができるための相談支援と、必要な人に確実に届ける情報提供が必要です。

○障がいがあっても地域で自分らしく安心して暮らしていくためには、地域における障がいに対する理解や障がいのある人の社会参加が不可欠であり、共に参加・活動する機会を拡充していくことが必要です。

指標名	単位	初期値(H27)	H29	H30	R元	R2	目標値(R3)
福祉施設利用者の一般就労への移行者数	目標値	5	5	5	5	5	5
	実績	2	3	1			
	達成度	40.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
就労移行支援事業利用者数	目標値	6	6	6	6	6	6
	実績	6	33	3			
	達成度	100.0%	550.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域生活支援事業費	目標値	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
	実績	12,173	13,425	14,300			
	達成度	81.2%	89.5%	95.3%	0.0%	0.0%	0.0%
重度障がい者支援費	目標値	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000
	実績	22,112	20,298	22,031			
	達成度	92.1%	84.6%	91.8%	0.0%	0.0%	0.0%

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
5-4-1 相談支援体制の強化	現状維持		
5-4-2 社会参加・就労支援	現状維持		
5-4-3 障がい福祉サービスの充実	現状維持		
5-4-4 バリアフリーのむらづくり	現状維持	※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/-	

全体総括

・障がいのある方、地域住民、支援者、行政等がお互いに助け合い、障がいの有無にかかわらず、一人ひとりが自分らしく、安心して生活できるまちづくりに向けた取り組み推進を図る。

総合評価

B

目標に向けある程度進んでいる

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	補単	事業費(千円)		
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価			平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
5-4-1 相談支援体制の強化													
67	基本相談支援事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	2,181	2,090	2,100
5-4-2 社会参加・就労支援													
68	ボランティアセンター事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	700	700	700
69	在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	130	240	240
70	難聴児補聴器購入費等助成事業	福祉課	A	B	A	A	A	継続	現状維持	補	79	450	450
71	身体障がい者自動車改造費用助成、自動車操作訓練費助成事業	福祉課	A	C	C	A	B	継続	現状維持	単	0	400	400
5-4-3 障がい福祉サービスの充実													
72	社会福祉総務費	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	25,293	4,167	5,852
73	自立支援給付事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	263,974	311,300	300,000
74	地域生活支援事業	福祉課	A	B	A	A	B	継続	現状維持	補	14,300	18,162	20,098
75	重度障がい者支援事業	福祉課	A	A	A	A	B	継続	現状維持	補	22,031	23,502	27,702
76	障がい児通所支援事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	95,192	99,700	99,750
77	罹災見舞金事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	0	240	240
78	重度心身障がい者タクシー料金助成事業	福祉課	A	B	B	B	B	継続	現状維持	単	223	250	250
5-4-4 バリアフリーのむらづくり													
79	公共施設等バリアフリー化の推進	企画政策課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	0	0	0
合計											424,103	461,201	457,782

基本施策評価シート

施策コード	5-5	主担当課	福祉課
基本施策	地域福祉の充実	関連課名	総務課
基本目標	5 自分らしく生き、笑顔があふれるむらづくり		

現状と課題	<p>○地域社会における連帯感や相互扶助意識の希薄化を背景に、支援が必要な人々を地域全体で支える地域福祉の推進が求められています。特に、東日本大震災を経験した今では、ますますその重要性が再認識されています。</p> <p>○誰もが安心して地域で暮らしていくためには、一人一人の状況に応じたきめ細かな支援が必要であり、公的サービスの充実と合わせ、多様な主体による支え合い活動が不可欠です。地域福祉の担い手となるボランティアやNPO、民間企業等の育成及び活動支援を図るとともに、必要とされているニーズと提供できる支援をつなぐ仕組みづくりが必要です。</p> <p>○生活困窮者及び生活保護受給者の増加を受け、生活困窮者に対し、生活保護に至る前の段階での自立支援策の強化が求められています。</p>
-------	--

指標名	単位	初期値 (H27)	H29	H30	R元	R2	目標値 (R3)	
		福祉関連ボランティア団体数	団体	4	4	4	4	4
		実績	3	2	7			
		達成度	75.0%	50.0%	175.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生活困窮者支援事業による就労者数	人	5	5	5	5	5	5	
		実績	2	2	4			
		達成度	40.0%	40.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
5-5-1 ボランティア・福祉団体等の活動支援	現状維持		
5-5-2 コーディネート機能の充実	現状維持		
5-5-3 安全・安心の確保	現状維持		
5-5-4 生活困窮者支援の実施	現状維持	※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/-	

全体総括	<p>・近年は多種多様な福祉課題、生活課題、少子高齢化や核家族化に伴い地域でのつながりが希薄化していることから、ボランティア、民生児童委員協議会、各種福祉関係団体や行政組織と連携、協働しながら、村内における地域福祉の推進を図る。</p>
------	--

総合評価	A
目標に向け順調に進んでいる	

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	補単	事業費(千円)		
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価			平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
5-5-1 ボランティア・福祉団体等の活動支援													
80	西郷村社会福祉協議会運営事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	31,362	33,268	33,000
81	福島県骨髄移植ドナー助成事業	健康推進課	A	A	A	A	B	継続	現状維持	補	895	2,707	1,000
5-5-2 コーディネート機能の充実													
82	西郷村福祉委員会運営事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	895	2,707	1,000
5-5-3 安全・安心の確保													
83	避難行動要支援者支援事業	総務課	A	C	B	B	A	継続	現状維持	補	0	0	0
5-5-4 生活困窮者支援の実施													
84	災害援護資金事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	2,568	4,811	4,874
85	災害弔慰金事業	福祉課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	0	0	0
合計											35,720	43,493	39,874

基本施策評価シート

施策コード	6-1	主担当課	環境保全課
基本施策	自然環境の保全	関連課名	学校教育課
基本目標	6 自然と共生し、環境にやさしいむらづくり		

現状と課題	<p>○豊かな自然に対する村民の満足度は高く、多くの村民がむらの将来像として豊かな自然と共生した美しい環境を望んでいます。豊かな自然は貴重な観光資源でもあり、地域の財産として次代に引き継いでいく必要があります。</p> <p>○地球温暖化をはじめ環境保護の問題は全世界で取り組むべき課題となっており、国民の環境意識も高まっています。今後も一人ひとりの意識向上と具体的な行動を促しながら、自然環境の保護及び環境負荷の軽減に向け、村民・事業者・行政が一体となって計画的に取り組んでいく必要があります。</p>
-------	--

指標名	単位	初期値 (H27)	H29	H30	R元	R2	目標値 (R3)
							目標値
一斉清掃に参加した村民の人数	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
	実績	4,500	5,300	4,362			
	達成度	75.0%	88.3%	72.7%	0.0%	0.0%	0.0%
むらづくり指標の達成度							

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
6-1-1 環境保全活動の活性化	現状維持		
6-1-2 環境教育の推進	-		
※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/-			

全体総括	<p>村内一斉清掃を通じ、村民一人ひとりの意識向上と具体的な行動を促しながら、自然環境の保護及び環境負荷の軽減に向け、村民・事業者・行政が一体となって取り組むことができた。</p>	<p>総合評価</p> <p>A</p> <p>目標に向け順調に進んでいる</p>
------	--	--

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	事業費(千円)			
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価		補単	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
6-1-1 環境保全活動の活性化													
	1 環境衛生費(一般【特定外来種駆除事業】)	環境保全課	B	B	B	B	B	継続	現状維持	単	161	315	315
	2 環境衛生費(一般)	環境保全課	A	A	A	A	C	継続	現状維持	単	72	72	72
	3 環境衛生費(一般)	環境保全課	A	A	A	A	C	継続	現状維持	補	1,474	3,535	3,535
	4 水道事業会計負担金	環境保全課	-	-	-	-	-	-	-	単	307	313	313
	5 白河地方広域市町村圏整備組合負担金(地方公営企業)負担金出資金	環境保全課	-	-	-	-	-	-	-	単	496	394	0
	6 白河斎場運営事業	環境保全課	-	-	-	-	-	-	-	単	13,639	13,658	13,658
	7 福島県自然公園清掃協議会中通り支部西郷分会事務	環境保全課	-	-	-	-	-	-	-	単	200	200	200
6-1-2 環境教育の推進													
	8 太陽光発電売電事業	学校教育課	-	-	-	-	-	-	-	単	114	192	192
合計											16,463	18,679	18,285

基本施策評価シート

施策コード	6-2	主担当課	環境保全課
基本施策	資源循環型社会の推進	関連課名	
基本目標	6 自然と共生し、環境にやさしいむらづくり		

現状と課題	<p>○限りある資源を有効に活用し、環境負荷の低減を図る「資源循環型社会」の実現に向け、ごみの減量化に向けた社会的気運が高まっています。資源循環型社会の形成に向けた法整備も進められており、消費者、行政、事業者がそれぞれの役割・責務においてごみの減量化・再資源化を進めていくことが求められています。</p> <p>○村では、ごみ分別の徹底とリサイクル意識の啓発等により、ごみの減量化を図るとともに、地域団体が実施する資源回収活動の支援や学校給食における残渣のたい肥化実施など、資源循環型社会の実現に向けた取り組みを進めてきました。今後も、ごみの適正処理を図りつつ、村民、事業所、行政による積極的な取り組みを推進していく必要があります。</p>
-------	--

指標名	単位	初期値 (H27)	H29	H30	R元	R2	目標値 (R3)
							達成度
ごみ総排出量 (※H29実績値は未公表のためH28の実績値とする)	目標値	6,130	6,130	6,130	6,130	6,130	6,130
	実績	6,495	6,699	6,857			
	達成度	94.4%	91.5%	89.4%	0.0%	0.0%	0.0%
村民一人一日あたりごみ排出量	目標値	840	840	840	840	840	840
	実績	894	914	932			
	達成度	94.0%	91.9%	90.1%	0.0%	0.0%	0.0%
リサイクル率 (資源ゴミ処理実績/リサイクルプラザゴミ処理総量)	目標値	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0
	実績	16.0	14.7	13.3			
	達成度	88.9%	81.7%	73.9%	0.0%	0.0%	0.0%

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
6-2-1 ごみの減量化の促進	現状維持		
6-2-2 ごみ・し尿の適正処理	現状維持		
※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/-			

全体総括	<p>不法投棄監視員によるゴミの発見やシルバー人材センター委託による定期的な回収作業は、村の環境美化向上に大きな効果をもたらし、資源回収団体による資源回収は、団体の活動としてだけでなく、リサイクルへの地域住民への周知・理解という波及効果ももたらしている。</p>
------	---

総合評価	A
目標に向け順調に進んでいる	

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	事業費(千円)			
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価		補単	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
6-2-1 ごみの減量化の促進													
9	塵芥処理費(一般)	環境保全課	A	A	A	A	B	継続	現状維持	単	4,231	4,777	4,777
10	白河地方広域市町村圏整備組合負担金(塵芥)	環境保全課	-	-	-	-	-	-	-	単	158,834	157,476	158,834
6-2-2 ごみ・し尿の適正処理													
11	白河地方広域市町村圏整備組合負担金(し尿)	環境保全課	-	-	-	-	-	-	-	単	18,554	46,515	46,515
合計											181,619	208,768	210,126

基本施策評価シート

施策コード	6-3	主担当課	環境保全課
基本施策	エネルギー対策の推進	関連課名	
基本目標	6 自然と共生し、環境にやさしいむらづくり		

現状と課題

○東日本大震災以降、エネルギーに対する関心が高まっています。各家庭や事業所等では、できるだけエネルギーを消費しない省エネルギーに取り組むとともに、化石燃料に依存せず、地球環境にもやさしい再生可能エネルギーを積極的に活用しようといった取り組みも多くみられるようになってきました。

○村では、公共施設への太陽光発電設備の設置や公用車のハイブリッド化を行うとともに、一般家庭等における太陽光発電の導入を支援するなど、省エネルギー、再生可能エネルギーの導入を進めてきました。今後も、エネルギー関連技術の進展に合わせ、地域全体で省エネルギー、再生可能エネルギーの導入等に向けた取り組みを進めていく必要があります。

指標名	単位	初期値 (H27)				目標値 (R3)			
		H29	H30	R元	R2	H29	H30	R元	R2
再生可能エネルギー（住宅用太陽光発電システム設置）補助件数	目標値								
	実績	31	32	29					
	達成度	88.6%	91.4%	82.9%	0.0%	0.0%	0.0%		

個別施策名	方向性	個別施策名		方向性	
6-3-1	省エネルギーの促進	現状維持			
6-3-2	再生可能エネルギーの普及促進	現状維持			
※方向性: A 拡大・拡充 B 現状維持 C 縮小・統合 D 次年度以降検討					

全体総括	各家庭や事業所等では、できるだけエネルギーを消費しない省エネルギーに取り組むとともに、化石燃料に依存せず、地球環境にもやさしい再生可能エネルギーを積極的に活用しようといった取り組みにこの補助事業は、大きな役割を果たしてきた。約10年という節目を迎えるに当たり事業の見直しの時期と考える。	総合評価	A
		目標に向け順調に進んでいる	

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	事業費(千円)			
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価		補単	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
6-3-1 省エネルギーの促進													
12	二酸化炭素排出抑制対策事業(LED照明導入促進事業)	住民生活課	A	B	A	A	A	継続	現状維持	単	7,350	7,149	7,149
6-3-2 再生可能エネルギーの普及促進													
13	新エネルギー事業	環境保全課	B	A	C	A	C	継続	現状維持	単	2,242	3,600	3,600
合計											9,592	10,749	10,749

基本施策評価シート

施策コード	7-1	主担当課	総務課
基本施策	防災対策・消防体制の充実	関連課名	企画政策課
基本目標	7 安全が守られ、災害に強いむらづくり		

現状と課題	<p>○平成23年3月に発生した東日本大震災以降も、各地で震災や台風等の大雨による土砂災害が全国で相次いで発生しているほか、竜巻による被害が発生している地域も見られており、これまで以上に自然災害に対するリスクが高まっています。</p> <p>○防災・復旧における地域住民の力が再認識され、東日本大震災では、普段からのコミュニティが災害復旧の大きな力になりました。一方、少子高齢化の進行等により地域活動を担う村民の高齢化が進み、また、消防団員の確保が厳しい状況にあります。自分の地域は自分たちで守る意識の醸成を図りつつ、担い手の確保に努めていく必要があります。</p> <p>○村では、平成10年8月の集中豪雨災害及び平成23年3月の東日本大震災の経験を踏まえ、防災対策における組織体制の明確化等に取り組むとともに、消防団の充実強化を図っています。今後も、さまざまな災害に対応するための体制強化や減災に向けた取り組みを推進していく必要があります。</p> <p>○災害時においては、村民の適切な避難行動を促すためにも、迅速かつ的確な情報を伝えることが重要です。避難勧告・指示の的確な判断と防災情報が確実に村民に伝わる伝達体制の再構築を図っていく必要があります。</p>
-------	---

指標名	単位	初期値(H27)	H29	H30	R元	R2	目標値(R3)
消防団員数	人	330	330	330	330	330	330
		310	304	297			
		93.9%	92.1%	90.0%	0.0%	0.0%	0.0%
消防力充足率	%	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
		86.0	86.0	86.0			
		95.6%	95.6%	95.6%	0.0%	0.0%	0.0%
自主防災組織率	%	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0
		59.0	59.0	59.0			
		90.8	90.8	90.8	0.0	0.0	0.0
消防水利の充足率	%	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0
		89.0	91.5	92.6			
		96.7%	99.5%	100.7%	0.0%	0.0%	0.0%
防災行政無線の再構築	方式	デジタル	デジタル	デジタル	デジタル	デジタル	デジタル
		アナログ	アナログ	アナログ			
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
災害協定の締結	件	23	23	23	23	23	23
		20	22	22			
		87.0%	95.7%	95.7%	0.0%	0.0%	0.0%
防災備蓄倉庫の設置	棟	2	2	2	2	2	2
		1	1	1			
		50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
むらづくり指標の達成度		目標値					
		実績					
		達成度					

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
7-1-1 防災意識の啓発	現状維持	7-1-5 危機管理体制の強化	現状維持
7-1-2 情報伝達体制の再構築	現状維持	7-1-6 消防体制の強化	現状維持
7-1-3 防災拠点・設備の整備	現状維持	7-1-7 地域における防災活動支援	現状維持
7-1-4 治山・治水対策	—	※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/—	

全体総括	<p>災害対策等においては現状維持はあり得ない。各施策においては目標値に対し実績値があまり進んでいる状況には見えないが、現在、防災行政無線の再構築に向けた取り組みや自主防災組織の組織化(再組織化)に向けて取り組んでいる状況であり、少しずつではあるが目標に向け進んでいる。しかしながら消防団の団員不足が顕著であるため団員の確保については今後さらに拡充・強化を進める必要がある。</p>
------	---

総合評価	B
目標に向けある程度進んでいる	

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	補単	事業費(千円)		
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価			平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
7-1-1 防災意識の啓発													
1	防災意識啓発事業	総務課	A	B	A	A	A	継続	現状維持	単	0	0	0
7-1-2 情報伝達体制の再構築													
2	防災行政無線事業	総務課	A	A	C	A	A	継続	現状維持	単	3,622	4,222	94,427
7-1-3 防災拠点・設備の整備													
3	防災拠点・設備の整備	企画政策課	A	C	A	A	A	継続	現状維持	単	2,057	6,842	98,220
7-1-4 治山・治水対策													
4	治水対策事業	建設課	—	—	—	—	—	—	—	単	0	0	0
7-1-5 危機管理体制の強化													
5	福島県総合情報通信ネットワーク運営事業	総務課	—	—	—	—	—	—	—	単	1,191	1,820	1,820
6	国民保護事業	総務課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	6,222	726	726
7	防災対策事業(防災対策費、水防費)	総務課	A	B	C	A	A	継続	現状維持	単	1,042	2,095	3,518
7-1-6 消防体制の強化													
8	常備消防事業	総務課	—	—	—	—	—	—	—	補	251,213	251,361	253,765
9	消防団事業(非常備消防費、消防団雑費、福島県市町村総合事務組合負担金、ポンプ操法大会)	総務課	A	B	C	A	A	継続	現状維持	補	32,914	26,694	29,162
10	消防施設費(一般)事業	総務課	—	—	—	—	—	—	—	単	5,409	896	5,971
11	消防自動車等諸費事業	総務課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	1,797	3,784	2,115
7-1-7 地域における防災活動支援													
12	自主防災組織支援事業	総務課	—	—	—	—	—	—	—	単	0	600	1,000
合計											305,467	299,040	490,724

基本施策評価シート

施策コード	7-2	主担当課	住民生活課
基本施策	防犯・交通安全の推進	関連課名	
基本目標	7 安全が守られ、災害に強いむらづくり		

現状と課題	<p>○子どもや女性に対する凶悪犯罪被害に対する不安など、安全・安心な生活に対するニーズが高くなっています。また、最近では、なりすまし詐欺や通信販売等の消費生活におけるトラブル、SNSを介した犯罪等が多く見られるようになっており、地域ぐるみで見守る体制づくりとあわせて、防犯に対する知識の習得や意識啓発を図っていく必要があります。</p> <p>○自動車の性能やシートベルト着用率の増加、救急医療の向上等により、交通事故による死者数は減少傾向にあります。一方で、高齢者の交通事故が増加してきているほか、自転車による事故も社会問題化してきており、対策を講じていく必要があります。</p> <p>○見守り活動や交通安全活動は、主に地域活動団体によって支えられていますが、活動を担うボランティア等の高齢化、固定化が進んできており、これまでボランティアに興味を持っていなかった方が関心を持ち、積極的に活動に加わることができる体制づくりが必要です。</p>
-------	---

指標名	単位	初期値(H27)	H29	H30	R元	R2	目標値(R3)
交通事故発生件数	件	45	45	45	45	45	45
	件	79	49	24			
	達成度	57.0%	91.8%	187.5%	0.0%	0.0%	0.0%
刑法犯罪認知件数	件	140	140	140	140	140	140
	件	153	132	102			
	達成度	91.5%	106.1%	137.3%	0.0%	0.0%	0.0%
むらづくり指標の達成度							

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
7-2-1 防犯に対する意識啓発	現状維持	7-2-5 相談窓口の周知	現状維持
7-2-2 交通安全に対する意識啓発	現状維持		
7-2-3 防犯・交通安全施設の整備	現状維持		
7-2-4 地域で見守る体制の構築	現状維持	※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/-	

全体総括	<p>交通事故発生件数、刑法犯罪認知件数ともに年々減少し、各ボランティアの活動自体も他市町村に比べ活発である。</p> <p>しかし、全体としてボランティアの高齢化が進んでいるため、将来的に活動が縮小する虞がある。</p> <p>また、高齢者の交通事故が社会問題となっていることから、青色防犯パトロールカーを使用した活動に従事する高齢ボランティアへも、今後は注意啓発をする必要がある。</p>
------	--

総合評価	A
目標に向け順調に進んでいる	

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	補単	事業費(千円)			
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価			平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)	
7-2-1 防犯に対する意識啓発														
	13 諸費(一般)	住民生活課	-	-	-	-	-	-	単		753	754	754	
7-2-2 交通安全に対する意識啓発														
	14 交通安全対策費(一般)	住民生活課	A	A	A	A	B	継続	現状維持	単	3,788	3,576	3,576	
7-2-3 防犯・交通安全施設の整備														
	15 交通安全施設費	住民生活課	A	A	A	A	B	継続	現状維持	単	934	810	810	
7-2-4 地域で見守る体制の構築														
	16 交通安全施設費(臨時)	住民生活課	A	A	A	A	B	継続	現状維持	単	2,547	2,592	2,592	
	17 空き家対策事業	住民生活課	A	B	B	A	B	継続	現状維持	単	7,184	307	307	
7-2-5 相談窓口の周知														
	18 諸費(一般)	住民生活課	A	A	A	A	B	継続	現状維持	補	2,139	2,066	1,578	
合計												17,345	10,105	9,617

基本施策評価シート

施策コード	7-3	主担当課	環境保全課
基本施策	原子力災害対策の推進	関連課名	産業振興課
基本目標	7 安全が守られ、災害に強いむらづくり		健康推進課

現状と課題

○東日本大震災に伴う原子力発電所の水素爆発による放射能物質の放出は、村民の暮らしや地域産業、健康への不安、本村に対するイメージ等に大きな影響を与えており、村民の安全・安心な生活を確保し、本村に活気を取り戻すためにも、最も早急に取り組まなければならない課題のひとつです。

○原子力災害対策は、本来、原子力政策を推し進めてきた国と原子力事業者である東京電力(株)が対処すべき問題であり、国は、社会的立場において責任を持って除染に取り組むとしています。しかしながら、それには相当の時間がかかると考えられることから、一刻も早く安全・安心な生活を取り戻すべく、村が実施主体となって除染活動に取り組んでいます。

○放射能汚染は目に見えない災害であり、その影響に対する不安は、今なお大きなものとなっています。特に、子どもの健康被害に対する不安が大きいことから、村では、ガラスバッチによる外部被ばく測定及びホールボディカウンターによる内部被ばく測定を行っています。また、食品の自主検査に対する支援を行うとともに、村役場において持ち込みによる検査を実施しています。さらに、放射能汚染やその影響に対する正しい知識の普及に向けた取り組み等を実施しています。

○今後も、村士の放射線量低減に向けて全力で取り組むとともに、正しい情報を把握、発信し、安心して暮らし、訪れることができるむらづくりを推進していく必要があります。

指標名	単位	初期値(H27)	H29	H30	R元	R2	目標値(R3)	
							実績	達成度
汚染土壌の中間貯蔵施設への搬出量	袋	1,000	69,750	69,750	69,750	69,750	490,000	
		1,002	14,946	59,091				
		100.2%	21.4%	84.7%	0.0%	0.0%	0.0%	

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
7-3-1 除染・線量低減化の推進	—		
7-3-2 復旧・復興対策	—		
7-3-3 健康と安全・安心の確保	—		
※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/—			

全体総括		総合評価
------	--	------

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	事業費(千円)			
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価		補単	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
7-3-1 除染・線量低減化の推進													
19	農業系汚染廃棄物処理事業	産業振興課	-	-	-	-	-	-	-	補	0	33,000	0
20	福島県営農再開支援事業(塩化カリ配布)	産業振興課	-	-	-	-	-	-	-	補	9,465	13,128	0
7-3-2 復旧・復興対策													
21	ふくしまプライド販売力強化支援事業(旧:ふくしまの恵み販売力強化事業)	産業振興課	-	-	-	-	-	-	-	補	3,055	3,100	0
22	放射性物質除染対策事業(仮置場復旧)	環境保全課	-	-	-	-	-	-	-	補	1,475,377	2,356,118	3,517,571
23	情報通信技術利活用事業(モニタリングシステム維持)	環境保全課	-	-	-	-	-	-	-	単	846	1,096	1,096
24	情報通信技術利活用事業	環境保全課	-	-	-	-	-	-	-	補	7,654	2,420	2,420
7-3-3 健康と安全・安心の確保													
25	農産物放射性物質検査事業	環境保全課	-	-	-	-	-	-	-	補	8,322	13,481	13,481
26	放射線健康対策事業	健康推進課	-	-	-	-	-	-	-	補	3,688	4,224	4,224
27	内部被ばく検査事業	健康推進課	-	-	-	-	-	-	-	単	561	1,035	219
28	放射線被ばく線量管理データベース・解析事業	健康推進課	-	-	-	-	-	-	-	補	3,143	3,465	3,465
合計											1,512,111	2,431,067	3,542,476

基本施策評価シート

施策コード	8-1	主担当課	総務課
基本施策	協働によるむらづくりの推進	関連課名	生涯学習課 企画政策課
基本目標	8 共に考え、協働するむらづくり		

現状と課題

○地方分権時代にふさわしい、特色あるむらづくりを推進していくためには、関係機関・団体や事業所、ボランティアなど地域の力が不可欠であり、村民と地域課題やめざす方向性を共有しながら、各主体との「協働」によるむらづくりを推進していくことが重要です。

○また、東日本大震災以降、地域における絆やつながりの重要性が再認識されており、地域コミュニティの活性化を図っていくためにも、地域活動団体の育成を支援していく必要があります。

○村では、行政区が中心となって地域活動が進められているほか、さまざまな団体による自主活動が行われていますが、活動を牽引するリーダーや活動を担う会員の固定化、高齢化が課題となっています。村民のむらづくりへの関心を喚起しつつ、活動への参加促進を図るとともに、若い世代をはじめ、さまざまな世代、立場の人の意見を政策に反映するための機会の拡充を図っていく必要があります。

指標名	単位	初期値 (H27)	H29	H30	R元	R2	目標値 (R3)
							目標値
村公式ホームページアクセス数(セッション数)	回	209,000	209,000	209,000	209,000	209,000	209,000
	実績	199,197	219,067	433,727			
	達成度	95.3%	104.8%	207.5%	0.0%	0.0%	0.0%
メールマガジン登録数	人	1,550	1,550	1,550	1,550	1,550	1,550
	実績	1,411	1,148	1,146			
	達成度	91.0%	74.1%	73.9%	0.0%	0.0%	0.0%
行政座談会参加人数	人	150	150	150	150	150	150
	実績	109	84	59			
	達成度	72.7%	56.0%	39.3%	0.0%	0.0%	0.0%
むらづくり指標の達成度							

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
8-1-1 情報共有・情報発信	現状維持		
8-1-2 多様な活動主体との連携	現状維持		
8-1-3 村民参画機会の拡充	現状維持		
※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/-			

全体総括

・情報発信については、ホームページの再構築を行ってから3年が経過し、掲載内容が充実してきたこともあり、着実にアクセス数が伸びている。その反面、不要な情報の取り下げ漏れ等や、制度改正等による掲載内容の更新に漏れが生じ始めているため、今後の改善が必要である。

・広聴については、平成30年度に開催された行政座談会は2件(川谷・甲子高原)に留まった。例年3行政区は開催しているが、区長要望が挙がってこなかった。次年度については、行政主導で行政区への訪問を予定している。

総合評価
B
目標に向けある程度進んでいる

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	補・単	事業費(千円)		
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価			平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
8-1-1 情報共有・情報発信													
1	文書広報事業	総務課	-	-	-	-	-	-	-	補	7,148	7,859	7,800
2	情報公開事業	企画政策課	A	B	A	A	A	継続	現状維持	補	42	334	350
3	統計調査員協議会事業	企画政策課	B	B	A	A	B	継続	現状維持	単	222	918	306
4	各種統計調査事業(その1)	企画政策課	A	B	A	A	A	継続	現状維持	補	1,095	449	188
5	各種統計調査事業(その2)	企画政策課	A	B	A	A	A	継続	現状維持	補	7	1,737	7,841
8-1-2 多様な活動主体との連携													
6	婦人会連絡協議会補助金	生涯学習課	A	B	B	A	C	継続	現状維持	単	300	300	300
8-1-3 村民参画機会の拡充													
7	企画費	企画政策課	A	B	A	A	A	継続	現状維持	補	1,762	7,575	2,647
8	行政区諸費(行政区諸費、行政区長会補助金、行政区広報費)	総務課	A	B	A	A	A	継続	現状維持	単	12,490	12,772	12,772
9	人と地域の絆づくり推進補助金	総務課	A	B	A	A	A	継続	現状維持	単	0	3,460	3,460
合計											23,066	31,944	32,204

令和 元 年度 実施

基本施策評価シート

施策コード	8-2	主担当課	財政課
基本施策	持続可能なむらづくりの推進	関連課名	総務課
基本目標	8 共に考え、協働するむらづくり		

現状と課題

○行政に対する住民ニーズが多様化・高度化する一方で、少子高齢化や社会経済情勢の変化等により厳しい財政状況が続く中、持続可能なむらづくりを推進していくためには、地域の活性化を図っていくことで自主財源を確保するとともに、限られた財源の中で、費用対効果の高い事業展開を図っていく必要があります。
○本村においては、リーマンショック及び東日本大震災の影響等により、地方法人税が大幅に落ち込む中、歳出の抑制を図ること等により、健全な財政状況を維持していますが、今後も税収の急速な改善が見込めない一方で、少子高齢化等による社会保障費の増大が予想されることから、長期的な視野に立ち、将来にわたって持続可能な行政運営を図っていくための取り組みを推進していくことが必要です。

指標名	単位	初期値 (H27)	H29	H30	R元	R2	目標値 (R3)	
							目標値	実績
財政力指数(過去3年平均)	-	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
		0.89	0.90	0.89				
		98.9%	100.0%	98.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
経常収支比率(臨財債含む)	%	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
		86.2	86.3	85.8				
		98.6%	98.5%	99.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
実質公債費比率(過去3年平均)	%	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2
		10.1	8.1	6.9				
		91.1%	113.6%	133.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

個別施策名	方向性	個別施策名	方向性
8-2-1 効果的・効率的な施策・事業の推進	現状維持		
8-2-2 健全な財政運営	現状維持		
8-2-3 広域連携の推進	現状維持		
※方向性:現状維持/拡充・強化/縮小/-			

全体総括

西郷村行政評価基本方針に基づく行政評価、事務事業評価等のPDCAサイクルが、翌年度以降の実施計画作成、予算編成に速やかに反映されるような、より効率的、効果的な事務スケジュールの改善、構築の必要があると思われる。

総合評価

A

目標に向け順調に進んでいる

事務事業評価(実施計画)

個別施策	事業名	課名	担当課評価						最終評価	補単	事業費(千円)		
			必要性	達成度	効率性	公平性	緊急性	一次評価			平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和2年度(計画)
8-2-1 効果的・効率的な施策・事業の推進													
10	議会費(一般)	議会事務局	-	-	-	-	-	-	単	4,002	5,047	6,086	
11	議員諸費	議会事務局	-	-	-	-	-	-	補	84,612	86,339	86,037	
12	委員会費	議会事務局	-	-	-	-	-	-	補	3,189	6,645	6,646	
13	特別委員会費	議会事務局	-	-	-	-	-	-	単	61	207	642	
14	監査委員会費	議会事務局	-	-	-	-	-	-	単	735	786	779	
15	公共施設等総合管理計画策定事業	財政課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	2,970	0	30,000
16	ふるさと納税管理費	企画政策課	B	A	B	A	B	継続	現状維持	単	17,006	16,124	17,912
17	一般管理(一般管理費、特別職諸費、村長管理費、議長管理費、指定管理者選定委員会費、固定資産評価審査委員会費、白河地方広域市町村圏整備組合員負担金)	総務課	-	-	-	-	-	-	単	34,978	34,885	34,809	
18	選挙管理費(選挙管理委員会費、選挙関係システム整備事業、町民選挙費、各種(国政・県・村)選挙費)	総務課	-	-	-	-	-	-	補	10,531	29,933	735	
19	東京にしごう会支援事業(東京西郷会補助金、東京にしごう会支援事業)	総務課	-	-	-	-	-	-	補	820	720	720	
20	法規管理費(文書広報費 法規管理費)	総務課	-	-	-	-	-	-	単	3,586	3,470	3,470	
21	戸籍住民登録費(一般)	住民生活課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	補	9,445	9,660	9,660
22	行政サービスセンター事業	住民生活課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	2,868	3,020	3,020
23	住民基本台帳ネットワーク事業	住民生活課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	3,406	2,010	2,010
24	社会保障・税番号制度システム整備事業	住民生活課	-	-	-	-	-	-	補	4,084	2,388	2,388	
25	外国人登録事務	住民生活課	-	-	-	-	-	-	補	26	26	26	
26	国民年金事務	住民生活課	-	-	-	-	-	-	補	1,167	35	35	
28	人権啓発活動事業	住民生活課	-	-	-	-	-	-	補	97	105	105	
8-2-2 健全な財政運営													
29	財政管理費(一般)	財政課	-	-	-	-	-	-	補	20,578	36,270	33,811	
30	公債費(一般会計)	財政課	-	-	-	-	-	-	補	651,477	607,233	588,041	
31	公用車管理費	財政課	-	-	-	-	-	-	単	10,627	9,157	10,627	
32	システム等管理費	財政課	-	-	-	-	-	-	単	3,908	4,030	3,980	
33	財産管理費(一般)	財政課	-	-	-	-	-	-	単	10,657	18,513	10,705	
34	基金費	財政課	-	-	-	-	-	-	単	249,880	1,245	1,236	
35	庁舎管理費	財政課	-	-	-	-	-	-	単	8,939	8,939	8,939	
36	公共料金管理費(電気料)	財政課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	88,727	81,173	81,173
37	公共料金管理費(電話料及びテレビ受信料)	財政課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	7,992	9,296	9,296
38	固定資産台帳整備事業	財政課	A	A	C	A	A	継続	現状維持	単	1,545	680	680
39	徴税管理費	税務課	-	-	-	-	-	-	単	15	15	15	
40	賦課徴収費	税務課	A	A	B	A	A	継続	現状維持	補	41,987	67,906	37,926
41	滞納処分費	税務課	A	A	A	A	A	継続	現状維持	単	7,605	6,272	6,540
42	一般管理費(一般)	総務課	-	-	-	-	-	-	単	1,031,628	1,062,824	1,062,824	
43	特別職諸費	総務課	-	-	-	-	-	-	単	41,248	46,715	46,715	
44	職員厚生費	総務課	-	-	-	-	-	-	補	7,701	9,476	9,476	
45	臨時職員雇用経費	総務課	-	-	-	-	-	-	単	161,622	193,274	193,274	
46	行政課題研究費	総務課	-	-	-	-	-	-	単	1,031	1,522	1,522	
8-2-3 広域連携の推進													
47	東北自動車道西郷バスストップ利用促進対策事業	企画政策課	B	C	A	A	B	継続	現状維持	単	0	1,300	540
合計										2,530,750	2,367,240	2,312,400	